I·O DATA

ハイブリッドデジタル
オーディオプレーヤー
MDM-H301
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

97863-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各 1 部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に 1 台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- HyperHyde,HyperHyde Hyblitz は、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,Mac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Liquid Audio および Liquid Player は米国 Liquid Audio 社の登録商標です。
- DigiOn,BeatBox は株式会社デジオンの登録商標です。
- Windows Media™ は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、ハイブリッドオーディオプレーヤー「HyperHyde Hyblitz」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

スムーズに作業を進めるために

以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。

本製品の動作環境や名称などを説明しています。必ずお読みください。
……第１章

↓

Windows をお使いの場合、必ずお読みください。
本製品の接続方法から本製品に音楽を録音するまでの操作を説明しています。
……第２章

↓

Macintosh をお使いの場合、必ずお読みください。
本製品の接続方法から本製品に音楽を録音するまでの操作を説明しています。
……第３章

↓

本製品で音楽を再生する方法を説明しています。Windows、Macintosh 共通です。どちらの OS をお使いの場合も、必ずお読みください。
……第４章

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me/98	Windows Me、Windows 98 の総称
Windows Me/98/2000	Windows Me、Windows 98、Windows 2000 の総称
Windows	上記の Windows すべての総称

●本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合はすぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

運転中や歩行中は使用しないでください。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作を行うことは絶対にお止めください。また、歩行中でも、踏切や交差点などでは回りの音が聞こえず、交通事故の原因となります。

禁止

大音量で長時間聞かないでください。

ヘッドホン着用時に、耳を刺激するような大音量で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
また、音量を急激に上げると耳を痛める原因となりますので、音量はゆっくり上げるようにしてください。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない

本製品は一般オフィスや家庭の OA 機器ないしホビー用途の製品として設計されていますので、一般機器より高い信頼性が要求される用途や、医療機器のような極めて高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

第三者に便宜を図る目的で音楽データを作成することは法律で禁止されています。

著作権者に無断で、販売や配布など第三者に便宜を図る目的で、音楽データを作成することは違法です。

また、個人で楽しむ場合のほかは、音声ファイル・音楽ファイル・オーディオCDなどの複製・無料/有料を問わずの配布、インターネットへの掲載は、著作権法や国際条約上、固く禁じられています。

⚠ 警告（電池について）

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。

電池の液が目に入ったり、体や衣服につくと失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだとき ➡ ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造しない、水で濡らさないでください。

液が漏れたり発熱、破裂して、けがややけどの原因となります。

充電池は、本機以外で充電しないでください。

液漏れや発熱、破裂の原因になります。

ショートさせないでください。

ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。電池の液漏れや発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意（電池について）

禁止

下記以外の電池を使わないでください。

【使用電池】三洋電機㈱ ニッケル水素充電池、単 4 アルカリ乾電池
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

注意

指定した電池を正しい方向（プラス・マイナス）で入れてください。

指定以外の電池は使用しないでください。また、プラスとマイナスは正しく入れてください。間違えると、電池の液漏れや発熱、破裂などにより、火災やけが、機器破損の原因となります。

厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れけがややけどの原因となります。万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。

禁止

乾電池には充電しないでください。

乾電池を使用しているときは充電しないでください。乾電池の液漏れ、破裂により、火災・けがの原因となります。

注意

USB ポートに接続して本製品を使用する場合は、USB ポートから電源が供給されます。電池は使用されません。

⚠著作権上の注意事項

本製品は音楽データの形式によって定められた著作権保護の制限を準拠して作られています。ご使用いただくには以下のような制限があることをご理解ください。

■Liquid Player をご使用になられる場合

Liquid Player では、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして、Liquid Audio 社の開発した著作権保護技術「SP3」を採用しています。Liquid Player には、SDMI の取り決めに従って音楽著作権を保護するための暗号技術を利用したシステムが組み込まれています。

1. Liquid Player を用いてパソコンのハードディスクに入れた音楽は、他のパソコンでは再生できない場合があります。簡易パスポートでの登録の場合、他のパソコンでは再生できません。標準パスポートでの登録の場合、他のパソコンに音楽データとパスポートをコピーすることによって、他のパソコンでの再生ができるようになります。
2. Liquid Player を用いてパソコンのハードディスクに入れた音楽は、他のパソコンを使って本製品への転送することはできません。
3. 本製品にパソコンから転送した音楽は、パソコンに戻してパソコン上で再生できません。
4. 音楽配信からの音楽データの利用方法に関しては、著作権者およびサービス事業者の意向に則った処理をおこないます。
5. 音楽 CD での利用条件は、SDMI の基本ルールに従っておこないます。この場合には、ひとつの音楽データの転送は本製品 3 台までとなります。

以下のAACの特許は許諾されています。

Pat. 5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189
5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962 5,274,740
5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671 07/640,550
5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874
98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046
08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654
5,548,574 5,717,821

目次

はじめに ····· i
安全にお使いいただくために ····· iii

1 ご使用になる前に

箱の中身は ····· 1
HyperHyde Hyblitz の魅力 ····· 3
各部の名称 ····· 6
動作環境 ····· 8

2 Windows で使うには

パソコンの準備

インストールと確認（Windows Me/98/2000） ····· 13
インストールと確認（Windows XP） ····· 20
充電しよう ····· 26
本製品を取り外すには ····· 29
インストールした情報を削除するには ····· 31

音楽を録音しよう

音楽を録音するまでのプロセス ····· 45
ファイルコピーを使う ····· 49
Windows Media Player を使う ····· 51
BeatBox を使う ····· 62
Liquid Player を使う ····· 72

3 Macintosh で使うには

接続から充電まで ····· 87
音楽を録音するには ····· 90

4 音楽を聴こう

基本操作 ····· 91
モードの設定 ····· 96

5 故障かなと思う前に

トラブル Q&A＜目次＞ ····· 99
トラブル Q&A ····· 101
簡単なお手入れ ····· 110

6 付　録

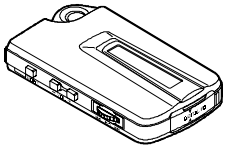
ハードウェア仕様 ····· 111
用語解説 ····· 113
アフターサービス ····· 115

1 ご使用になる前に

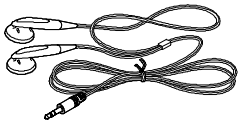
箱の中身は

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

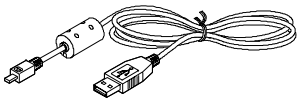
- ☐ 本製品（1台）



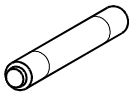
- ☐ ステレオイヤホン（1本）



- ☐ 専用USBケーブル（1本、約100cm）



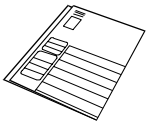
- ☐ 単4ニッケル水素充電池（1本）



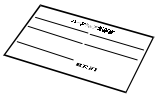
- ☐ サポートソフト CD-ROM（1枚）

- ☑ 取扱説明書

- ☐ ユーザー登録カード（1枚）



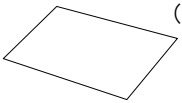
- ☐ ハードウェア保証書（1枚）



- ☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）

※ハードウェアシリアル No.シールを
ハードウェア保証書とユーザー登
録カードに貼ってください。

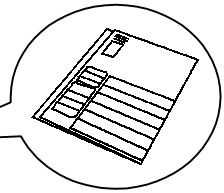
- ☐ はじめよう！ @niftyでインターネット（1枚）



注意！

1. **箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。**
2. **本製品添付のソフトウェアは、Windows 版です。**
   Macintosh をお使いの場合は、ご使用の OS に対応した音楽データ変換ソフトを別途ご用意いただくか、音楽データそのものをご用意ください。

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。



■BeatBox をお使いになる場合■

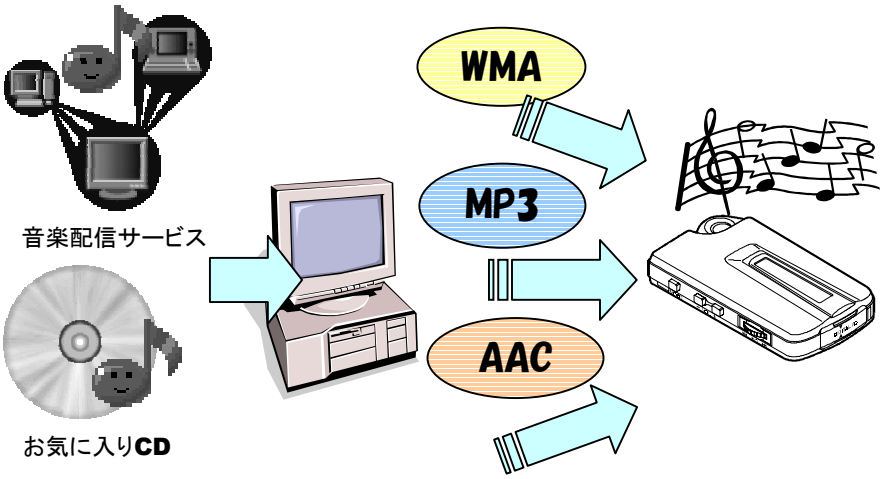
株式会社デジオンへのユーザー登録を行ってください。
ユーザー登録は、株式会社デジオンの Web サイト（http://www.digion.com/）でのオンライン登録をご利用ください。（**ユーザー登録時に必要になる登録コードは、サポートソフト CD-ROM の表に印刷されています。**）
ユーザー登録を行うと、以下のようなメリットがあります。

- ユーザーサポート
  電話、FAX、e-mail によるサポートをお受けいただくことができます
  （ご登録いただいていないお客様は、電話サポートをご利用になれません）。
  電話番号：092-833-6288
  FAX 番号：092-833-6278
  メール：support@digion.com
- バージョンアップのご案内
  株式会社デジオンが新製品を発売したときなどに、お客様が新規に製品をご購入になるよりお得な料金でバージョンアップいただけるご案内をお送りします。

HyperHyde Hyblitz の魅力

いつでも、どこでも、どんな音楽でも！
超小型・超軽量
マルチデコードシステム採用
著作権保護コンテンツ対応

- HyperHyde Hyblitz（本製品）は超小型・超軽量のハイブリッドオーディオプレーヤー。内蔵メモリに好きな音楽を録音すれば、いつでもどこでも音楽が楽しめます。
- 「マルチデコードシステム」を採用し、WMA 方式・MP3 方式・AAC 方式の音楽データを再生できるので、さまざまな音楽配信サービスでダウンロードした音楽データをそのまま使用することができます。
- 著作権保護情報付きの音楽データ（DRM 付 WMA、Liquid Audio）も再生可能。

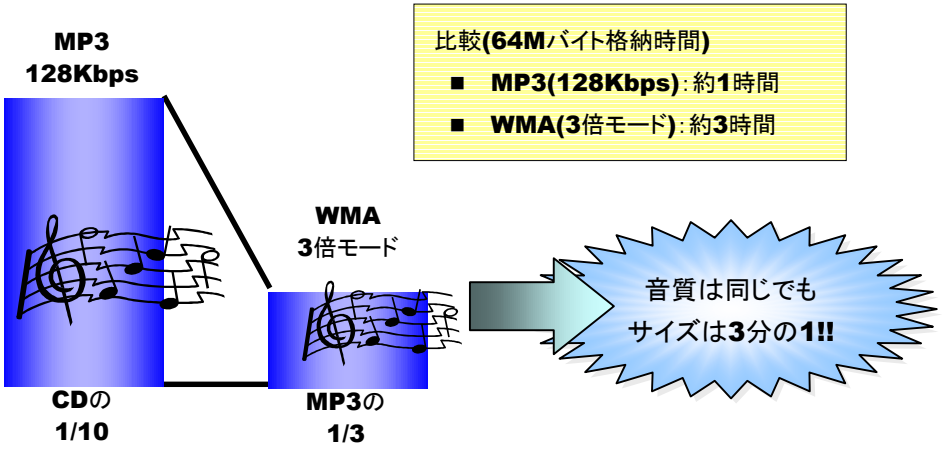


■本製品が対応している音楽データ形式

1. WMA 方式：Microsoft 社が開発した音楽データ圧縮方式。Windows XP では 3 倍モード（MP3 の 1/3 の圧縮）が可能。
2. MP3 方式：MPEG が制定した音楽データ圧縮方式。通常の音楽 CD に迫る音質で約 1/10 の圧縮が可能。
3. AAC 方式：MPEG が制定した音楽データ圧縮方式。BS デジタル放送の音楽圧縮技術として採用。MP3 と同等以上の圧縮率、音質がある。

録音は最長３時間、連続使用は４時間以上
Windows Media Player for XP の 3 倍モード対応
ニッケル水素充電池とアルカリ乾電池の両対応

- 本製品の内蔵メモリは 64M バイト。高音質（128Kbps）の音楽データを約１時間、録音できます。また、Windows XP でサポートされる Windows Media Player for XP の WMA3 倍モードを使えば、高音質で最長３時間の録音ができます。
- 標準添付の充電池は、USB 接続の簡単充電で約 4 時間の連続再生。さらに、アルカリ乾電池では、約 5.5 時間の連続再生が可能。お出かけ先でも電池切れでガックリということはありません。



高速＆ラクラク操作
高速書き込み＆USB の高速転送
液晶ディスプレイ・ジョグダイヤル採用

- 高速書き込みができる内蔵メモリと、USB 採用の高速データ転送を実現。また、USB から電源が供給されるため、音楽データ録音中は本製品の電池を消耗しません。
- 液晶ディスプレイやジョグダイヤル採用で、音楽再生時にも簡単操作を実現しました。

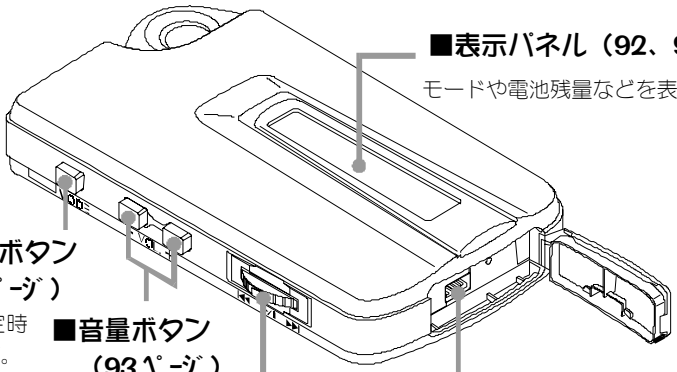
豊富な添付ソフトウェア
WMA、MP3、AAC 対応のソフトウェアを標準添付
（Windows 版のみ）

音楽 CD から音楽データを作成したり、本製品に音楽データを録音するための添付ソフトウェアを、それぞれの音楽データ形式に合わせて用意しました。
買ったその日から、音楽を楽しめます。

添付ソフトウェア	パソコンでの再生	音楽 CD から変換	本製品への録音
Windows Media Player 7.1	WMA MP3	WMA	WMA MP3
BeatBox 1.5.2	WMA MP3	WMA MP3	 MP3
Liquid Player 5.4 for I-O DATA	WMA MP3 AAC	 AAC	 MP3 AAC

各部の名称

本体



■表示パネル（92、96ﾍﾟｰｼﾞ）

モードや電池残量などを表示します。

■モードボタン（96ﾍﾟｰｼﾞ）

モード設定時に使います。

■音量ボタン（93ﾍﾟｰｼﾞ）

■ジョグスイッチ（93、96ﾍﾟｰｼﾞ）

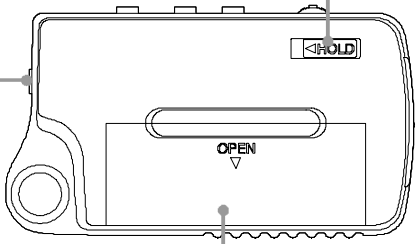
電源の入切、音楽再生時の操作などに使います。

■USB 接続端子（15、20、87ﾍﾟｰｼﾞ）

音楽録音時や充電時に、専用の USB ケーブルを差し込みます。

■HOLD ボタン（27、94ﾍﾟｰｼﾞ）

誤操作防止や充電のスタートに使います。



■ヘッドホン端子（91ﾍﾟｰｼﾞ）

専用ステレオイヤホンを差し込みます。

■電池カバー

付属の充電池、または、単４のアルカリ乾電池を入れます。

表示パネル

■曲番/モード表示(92、96ﾍﾟｰｼﾞ)

再生時には曲番を、モードボタン押下時にはモードを表示します。

■インジケータ（92、93ﾍﾟｰｼﾞ）

再生、一時停止、早送り、早戻し、データ転送中などの状態を示します。

■電池残量表示（95ﾍﾟｰｼﾞ）

電池の残量が表示されます。

■マナーモード表示（97ﾍﾟｰｼﾞ）

マナーモードのときに表示されます。

■バスブースト表示（97ﾍﾟｰｼﾞ）

低音域が強調されるバスブースト再生のときに表示されます。

■再生モード表示（97ﾍﾟｰｼﾞ）

1曲リピート、全曲リピート、ランダムリピートを表示します。

動作環境

本製品の動作環境

本製品の内蔵メモリに音楽を録音するためには、以下のようなパソコン環境が必要です。
本製品に添付のソフトウェアを使うには、それぞれのソフトウェアに合った動作環境が必要です。次ページ「添付ソフトウェアの動作環境」も確認してください。

■Windows 搭載パソコン■

対応機種	NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン
対応 OS （日本語版）	Windows Me Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000 Windows XP
CD-ROM	専用ドライバや添付ソフトのインストールに必要
USB ポート	本製品接続時に１つ必要

■Mac OS 搭載パソコン■

対応機種	Apple iMac、iBook PowerMacintosh G3、PowerMac G4、G4 Cube PowerBook G3、G4
対応 OS （日本語版）	Mac OS 9、9.0.4、9.1、9.2
USB ポート	本製品接続時に１つ必要

注意！　（Windows、Mac OS 共通）

1. **ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド、スリープなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本製品使用時にはそれらのモードを使用しないでください。**
2. **USB ハブに接続する場合は、必ず、USB ハブに AC アダプタをつけてご使用ください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体の USB ポートに直接接続してください。**

添付ソフトウェアの動作環境

本製品に添付のソフトウェアを使うには、それぞれのソフトウェアに合った動作環境が必要です。インストールの前に確認してください。
音楽データを取り扱うときには、著作権保護のための制限事項もありますので、viii ページ「著作権上の注意事項」も合わせてご覧ください。

■Windows Media Player 7.1■

対応機種	NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン
CPU	Pentium 166MHz 以上
対応 OS （日本語版）	Windows Me Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000
メインメモリ	32M バイト以上（64M バイト以上を推奨）
ハードディスク	32M バイト以上の空き領域が必要 （コンテンツ保存領域を含まず）
CD-ROM	4 倍速以上で、デジタル抽出可能なドライブ （オーディオキャプチャ対応）
サウンドカード	必須
その他	56Kbps モデムまたは LAN 環境でのインターネット接続環境

注意！

1. **Windows XP をご使用の場合は、OS 標準の Windows Media Player for XP をご使用ください。**
2. **Windows 2000 をお使いの場合**
   ・ダイナミックディスクには対応していません。
   ・Administrator 権限を持っているユーザでご使用ください。
3. **ご使用の環境に Windows Media Player 7 以上がインストールされている場合、本製品付属の Windows Media Player をインストールする必要はありません。**
4. **Liquid Player や BeatBox とは、同時に使用しないでください。システムの不安定をまねく恐れがあります。**
5. **本製品に録音した音楽データをパソコンへ戻すことはできません。**
6. **音楽 CD から入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。**

■Personal JukeBox BeatBox Version 1.5.2■

対応機種	NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン
CPU	Pentium 166MHz 以上 （PentiumⅡ 266MHz 以上推奨）
対応 OS （日本語版）	Windows Me Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000
メインメモリ	64M バイト以上
ハードディスク	10M バイト以上の空き領域が必要 （コンテンツを保存する場合は 1 分につき約 1M バイト必要）
CD-ROM	4 倍速以上で、デジタル抽出可能なドライブ （オーディオキャプチャ対応）
サウンドカード	必須
その他	CDDB（配信サービス）を使うときはインターネット接続環境および IE 3.02 以上が必要
ディスプレイ	High Color(65536 色)以上

本ソフトウェアに関するお問い合わせは弊社では行っておりません。
以下の株式会社デジオンにお問い合わせください。

電話番号：092-833-6288
FAX 番号：092-833-6278
メール：support@digion.com

注意！

1. **本ソフトウェアは、Windows XP には対応しておりません。**
2. **Windows 2000 をお使いの場合**
   ・ダイナミックディスクには対応していません。
   ・Administrator 権限を持っているユーザでご使用ください。
3. **Liquid Player や Windows Media Player とは、同時に使用しないでください。システムの不安定をまねく恐れがあります。**
4. **本製品に録音した音楽データをパソコンへ戻すことはできません。**
5. **音楽 CD から入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。**

■Liquid Player Version 5.4 for I-O DATA■

対応機種	NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン
CPU	MMX Pentium 233MHz 以上
対応 OS （日本語版）	Windows Me Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000
メインメモリ	32M バイト以上
ハードディスク	50M バイト以上の空き領域が必要 （コンテンツ保存領域含まず）
CD-ROM	4 倍速以上で、デジタル抽出可能なドライブ （オーディオキャプチャ対応）
サウンドカード	Windows 互換の 16 ビットをサポートするもの
その他	IE 4.0 SP1 以上の Web ブラウザ
ディスプレイ	640×480　256 色以上 （800×600　High Color (65536 色) 以上を推奨）

注意！

1. **本ソフトウェアは Windows XP には対応しておりません。**
2. **アップグレード環境、デュアルブート環境の動作保証は致しません。**
3. **Windows Me をお使いの場合**
   システムツール[システムの復元]を実行すると、Liquid Player が管理している曲が、本製品へ転送できなくなることがありますのでご注意ください。
4. **Windows 2000 をお使いの場合**
   ・ダイナミックディスクには対応していません。
   ・Administrator 権限を持っているユーザでご使用ください。
5. **Windows Media Player や BeatBox とは、同時に使用しないでください。システムの不安定をまねく恐れがあります。**
6. **[著作権管理]が有効になっている WMA ファイルを再生することは出来ません。**
7. **音楽 CD から取り込んだ音楽データの転送機器制限は3台までです。**
8. **本製品に録音した音楽データをパソコンへ戻すことはできません。**
9. **音楽 CD から入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。**
10. **本製品およびパソコンの不具合により、入手やダウンロードができなかった場合および、音楽データが破損または消去された場合の補償については、ご容赦ください。**

11. Liquid Player は、著作権保護の観点からデータを暗号化して保存しているため、音楽データのバックアップ・リストアには対応しておりません。
システムリカバリをおこなった場合やシステムクラッシュなどの問題が起きた場合には、入手した音楽データが失なわれることがあります。

12. パソコンを買い換えた場合には、従来のパソコンで持っていた音楽データの利用には制限があります。(viiiページ【著作権上の注意事項】参照)

- Liquid Player は、Liquid Audio 社の所有物です。
- Liquid Player に関しては、Liquid Player インストール時の 「エンドユーザ・ライセンス契約」 に従ってください。
- 権利者の許諾を得ることなく、本製品に付属のソフトウェアの内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- 本製品に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。
- 本製品に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本製品に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

2 Windows で使うには

ここでは Windows をお使いの場合の作業を説明します。Macintosh の場合は 87 ページを参照してください。

インストールと確認（Windows Me/98/2000）

ここでは、Windows Me, Windows 98, Windows 2000 をお使いの場合のインストールと確認方法を説明します。Windows XP をお使いの場合は、20 ページへお進みください。

サポートソフトのインストール

ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

なお、本書は Windows Me の画面を使用して説明していますが、特に明記のない限り、他の Windows でも操作は同じです。

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 しばらくすると、下記の画面が表示されるので、[USB Driver Setup]をクリックします。

下記の画面が表示されない場合は[マイコンピュータ]などで、CD-ROM ドライブを開き、setup.exe をダブルクリックしてください。

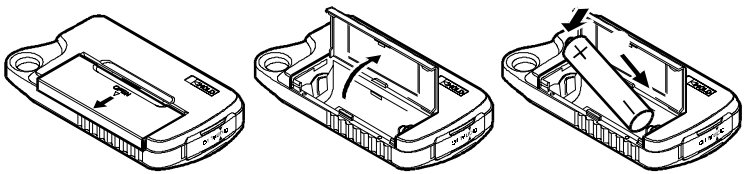
3 [次へ]をクリックして、処理を進めます。

4 下記の画面が表示されたら、[はい、今すぐ･･･]を選択して、[完了]をクリックします。

パソコンが再起動したら、サポートソフトのインストールは終了です。
次は、本製品をパソコンに接続し、正しくインストールされたかどうかを確認してみましょう。

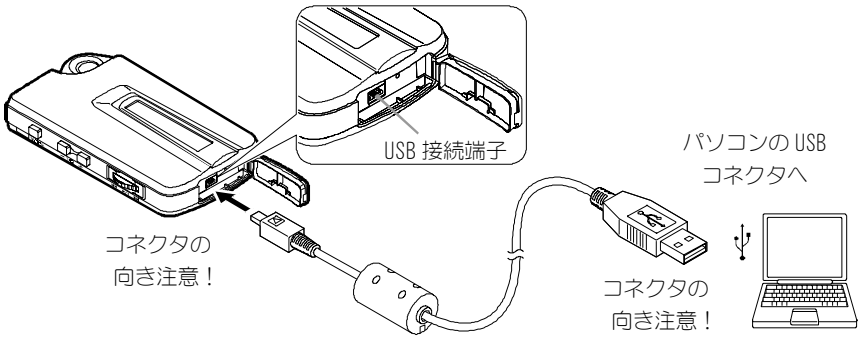
本製品を接続する

1 付属の充電池または単4アルカリ乾電池を本製品に入れます。



2 本製品をパソコンに接続します。

本製品のコネクタカバーを開け、付属の USB ケーブルの小さい方のコネクタを本製品に、大きい方をパソコンの USB コネクタに差し込みます。



付属の USB ケーブル

3 本製品の表示パネルが以下のように表示されることを確認してください。

初めて本製品を接続したときは、自動的に本製品が新しいハードウェアとして追加されます。画面が消えるまでしばらくお待ちください。

「新しいハードウェアの追加」
ウィザード画面が表示された場合は…

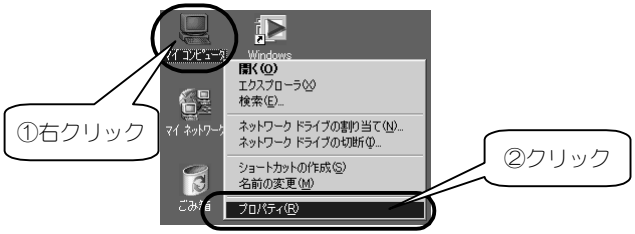
「トラブルQ&A」
104 ページ
をご参照ください。

次に、正常にインストールされたかどうかの確認を行いますが、お使いの OS によって、作業が異なります。必要なページを参照してください。

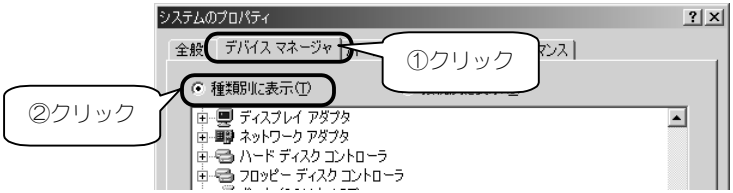
- Windows Me/98 をお使いの場合：次ページ参照
- Windows 2000 をお使いの場合：24 ページ参照

インストール後の確認（Windows Me/98）

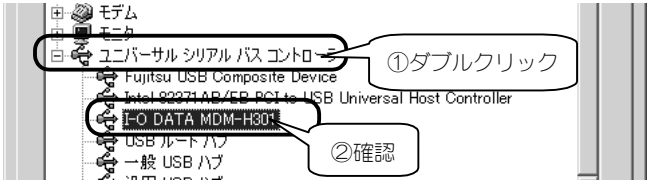
1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をクリックします。



3 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H301]が表示されていることを確認します。



MDM-H301 が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」104 ページをご参照ください。

4 [OK]をクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

5 [マイコンピュータ]を起動して、リムーバブルディスクが表示されることを確認します。

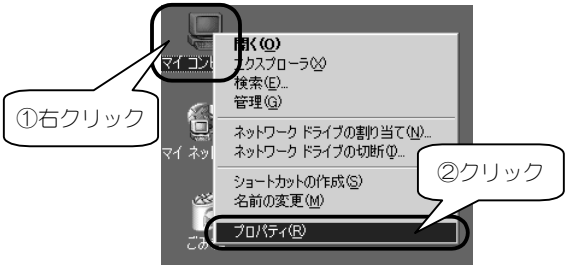
リムーバブルディスクが複数表示されて
どれが本製品か分からない場合は…

「トラブルQ＆A」
106 ページ
をご参照ください。

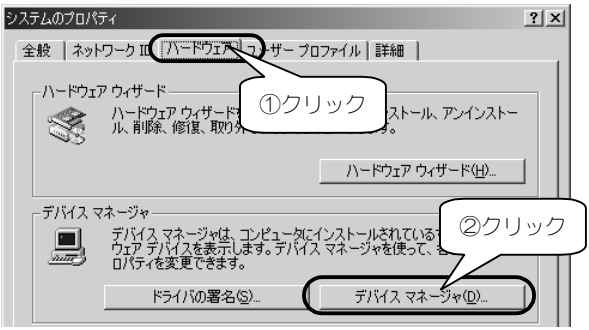
確認できたら、26 ページ「充電しよう」へ進んでください。

インストール後の確認（Windows 2000）

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。



2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



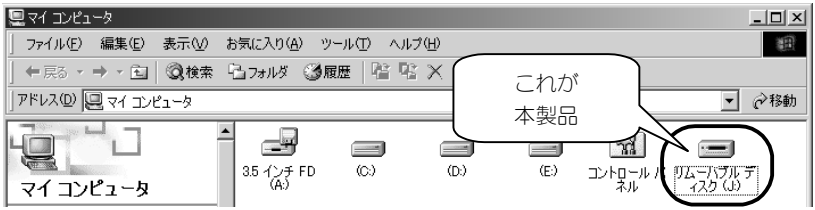
3 [USB（Universal Serial Bus）コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H301]が表示されていることを確認します。

MDM-H301 が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」
104 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

5 [マイコンピュータ]を起動して、リムーバブルディスクが表示されることを確認します。



リムーバブルディスクが複数表示されて
どれが本製品か分からない場合は…

「トラブルQ＆A」
106 ページ
をご参照ください。

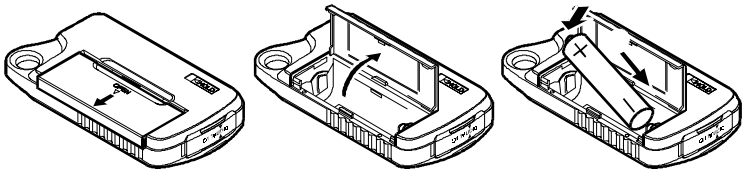
確認できたら、26 ページ「充電しよう」へ進んでください。

インストールと確認（Windows XP）

ここでは、Windows XP をお使いの場合の、インストールと確認方法を説明します。
他の Windows をお使いの場合は、13 ページを参照してください。
パソコンの電源を入れ、Windows XP を起動してから始めてください。

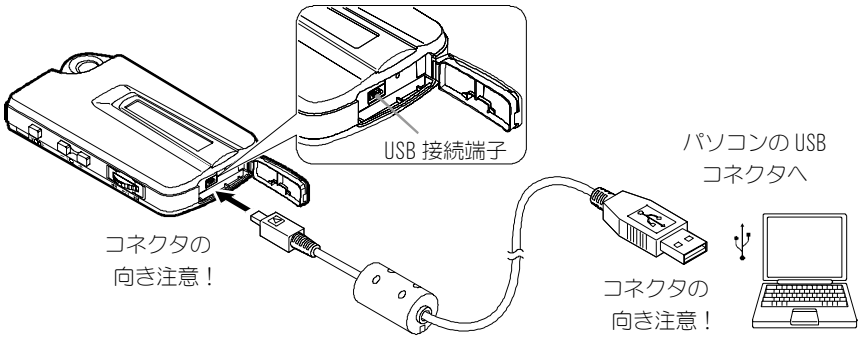
本製品を接続する

1 付属の充電池または単 4 アルカリ乾電池を本製品に入れます。



2 本製品をパソコンに接続します。

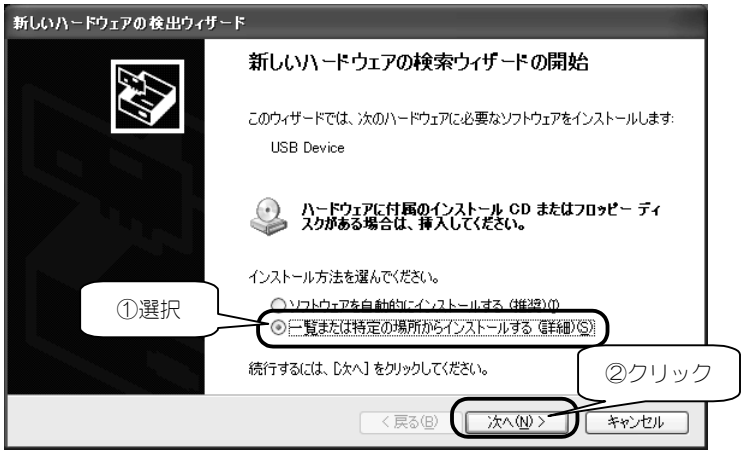
本製品のコネクタカバーを開け、付属の USB ケーブルの小さい方のコネクタを本製品に、大きい方をパソコンの USB コネクタに差し込みます。



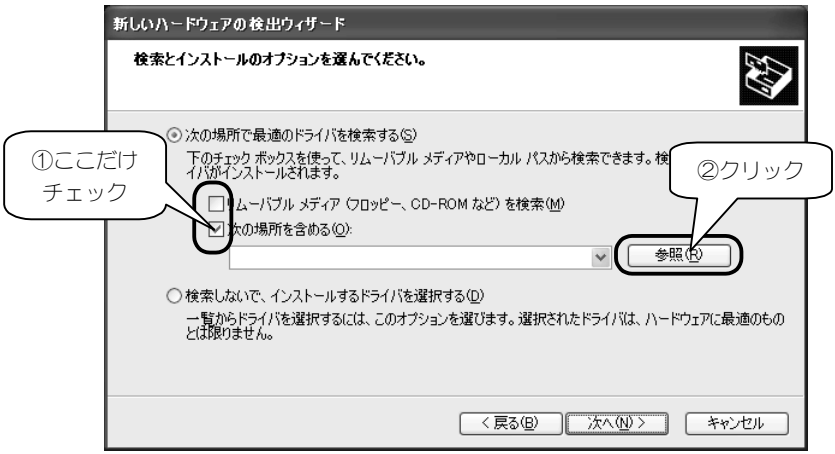
付属の USB ケーブル

サポートソフトのインストール

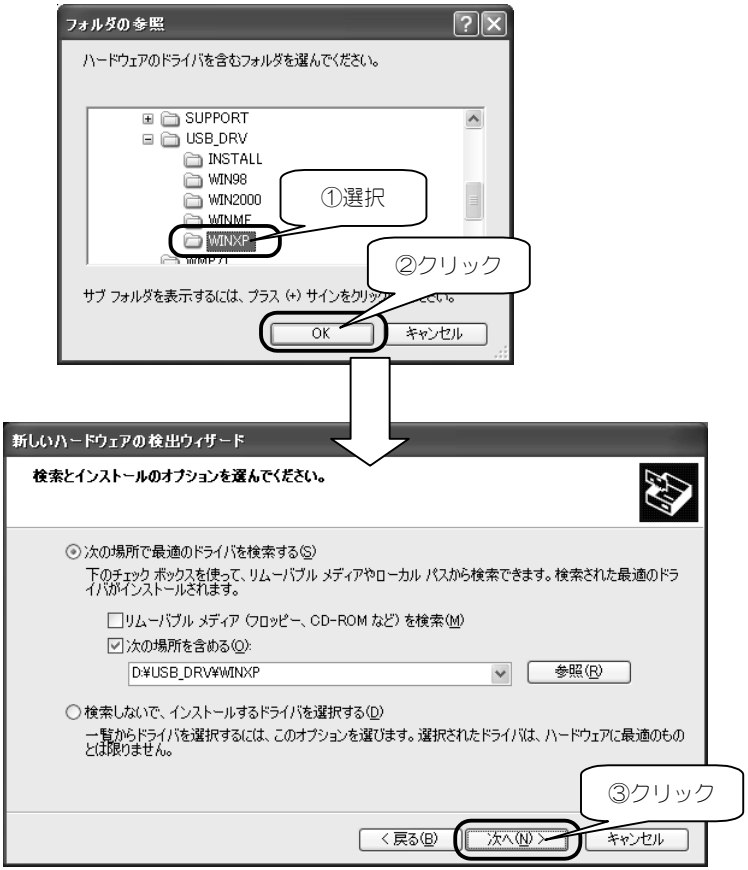
1 しばらくすると、パソコンに以下の画面が表示されます。
[一覧または特定の･･･]を選び、[次へ]をクリックします。



2 サポートソフトディスクを CD-ROM ドライブにセットします。
[次の場所を含める]だけをチェックし、
[参照]をクリックします。

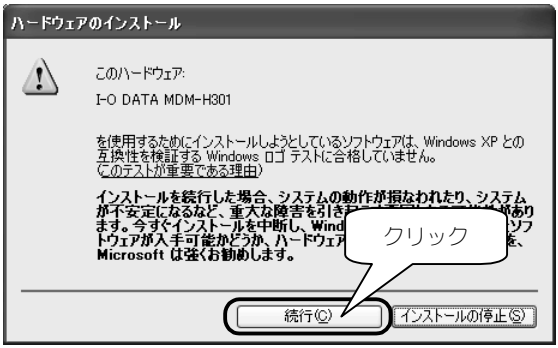


3 CD-ROMドライブにあるUSB_DRV¥WINXPフォルダを選択し、[次へ]をクリックします。



（CD-ROMドライブがDドライブの場合の例）

4 [続行]をクリックします。

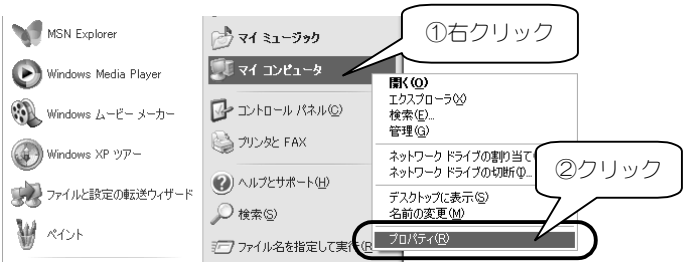


5 [完了]をクリックします。

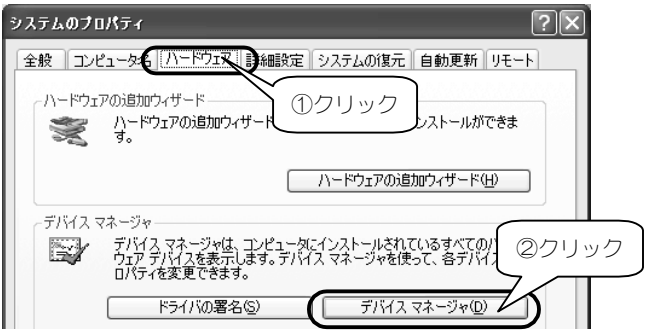
これで、サポートソフトのインストールは終了です。
次に、正常にインストールされたかどうかの確認を行います。
次ページへ進んでください。

インストール後の確認

1 [スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



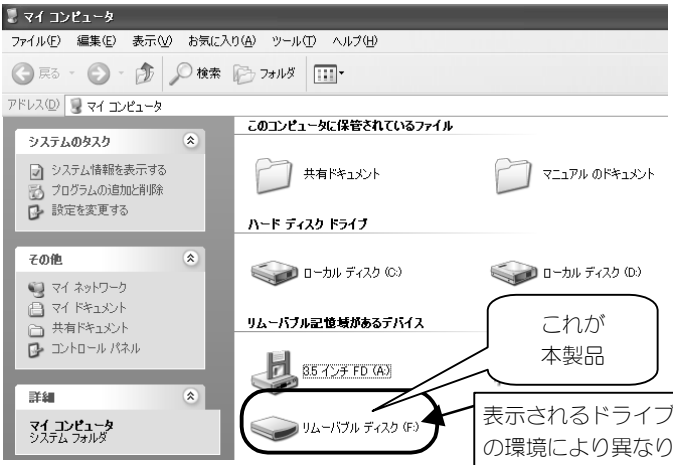
3 [USB（Universal Serial Bus）コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H301]が表示されていることを確認します。

MDM-H301 が表示されない場合は…

「トラブルQ&A」
104 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

5 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックして、リムーバブルディスクが表示されることを確認します。



リムーバブルディスクが
表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」
105 ページ
をご参照ください。

リムーバブルディスクが複数表示されて
どれが本製品か分からない場合は…

「トラブルQ＆A」
106 ページ
をご参照ください。

確認できたら、次ページ「充電しよう」へ進んでください。

充電しよう

付属の電池は、ニッケル水素充電池です。下記のように充電してからお使いください。充電時間は約 3.5 時間です。

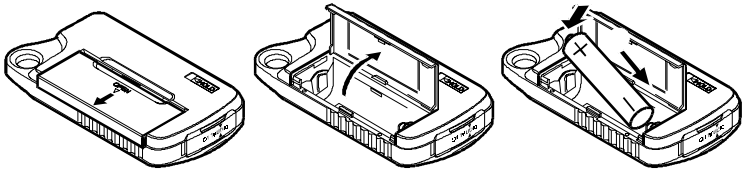
すでに本製品を接続してあるときは、手順 4 から始めてください。

チェック

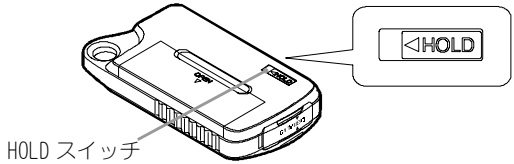
以下の準備ができていることを確認してください。

- サポートソフトがインストールされていること
  （Windows の場合）

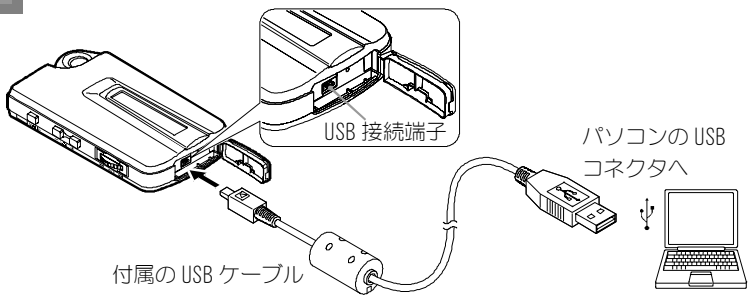
1 付属の充電池を本製品に入れます。



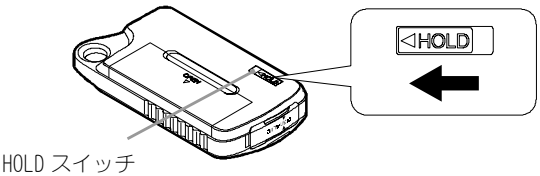
2 本製品裏面の HOLD スイッチが OFF（右側にスライド）になっていることを確認します。



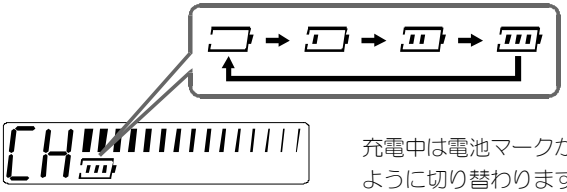
3 本製品をパソコンに接続します。



4 本製品裏面の HOLD スイッチを矢印方向にスライドします。



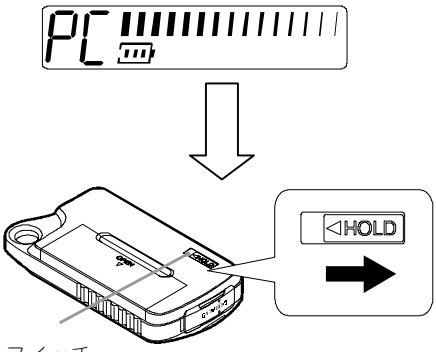
5 充電が始まり、表示パネルに以下のように表示されます。



充電中は電池マークが上記のように切り替わります

6 充電が完了すると、表示パネルに以下のように表示されるので、裏面の HOLD スイッチを OFF にします。

※充電池が空の場合、充電に必要な時間は約 3.5 時間です。



7 次ページ「本製品を取り外すには」を参照して、本製品をパソコンから取り外します。

注意！

1. **アルカリ乾電池には絶対に充電しないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。**
2. **付属充電池以外の電池に充電しようとしたり、不良充電池に充電しようとすると、表示パネルには以下のように表示されます。正しい電池に取り替えてください。**
   （電池によっては数分後に表示される場合があります）

3. **充電中に HOLD スイッチを OFF（右にスライド）にすると、充電は停止します。**
4. **充電中にパソコンがスタンバイ・スリープ・サスペンドなどのモードに入ったときは充電が中断されてしまいますので、充電中はそれらのモードにならないようにしてください。**
5. **充電池は使用せずに放置した場合でも自己放電します。充電してからお使いください。**
6. **充電池は使用状況によって異なりますが、約 500 回繰り返し充電ができます。**
7. **充電池を交換する場合は、三洋電機㈱製の単 4 形ニッケル水素充電池をご使用ください。**
8. **「電池について」vi ページ～の注意事項をよくお読みの上、お使いください。**

本製品を取り外すには

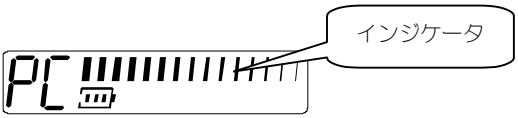
Windows 起動中に本製品を取り外す場合、ご使用の Windows によって、取り外し方が違いますので、必要な個所をお読みください。

- Windows Me/98 をお使いの場合：下記参照
- Windows XP をお使いの場合：下記参照
- Windows 2000 をお使いの場合：次ページ参照

ただし、Windows 終了後（パソコンの電源が切れている状態）では、どの Windows をお使いの場合でも、USB ケーブルを抜くだけでOKです。

Windows Me/98 の場合

1 表示パネルのインジケータが点滅していないことを確認します。



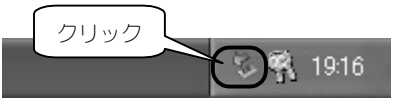
2 パソコン側の USB ポートから USB ケーブルを取り外します。

3 本製品側の USB ケーブルを抜き、コネクタのカバーを閉めます。

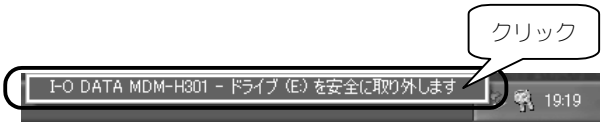
Windows XP の場合

Windows XP 起動中に取り外したいときは、以下の手順にしたがってください。パソコンが終了しているときは、手順**3**から行ってください。

1 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。



2 表示された[I-O DATA MDM-H301・・・]をクリックします。



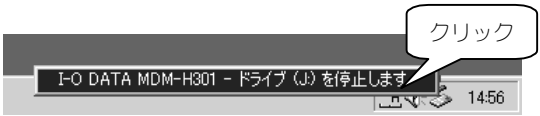
3 29 ページ「Windows Me/98 の場合」を参照して、取り外します。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 起動中に取り外したいときは、以下の手順にしたがってください。パソコンが終了しているときは、手順**4**から行ってください。

1 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。

2 表示された[～を停止します]をクリックします。



3 しばらくして下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

4 29 ページ「Windows Me/98 の場合」を参照して、取り外します。

インストールした情報を削除するには

ご使用の OS および削除したいソフトウェアに合わせて、必要なページを参照してください。

- Windows Me/98 で、サポートソフトを削除したい場合：下記
- Windows XP で、サポートソフトを削除したい場合：35 ページ
- Windows 2000 で、サポートソフトを削除したい場合：39 ページ
- BeatBox、Windows Media Player、Liquid Player を削除したい場合：
  「アプリケーションの追加と削除」を実行して下記を削除してください。
  ・Windows Media Player → 「Windows Media Player 7.1」
  （ご使用の OS により削除できない場合もあります）
  ・BeatBox → 「BeatBox」
  ・Liquid Player → 「Liquid Player」、「I-O DATA VENDER」

サポートソフトの削除（Windows Me/98 編）

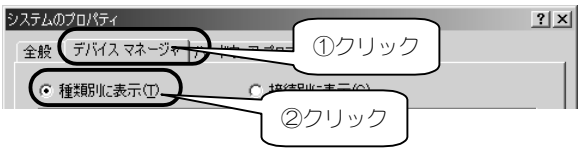
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- 本製品がパソコンに接続してあること

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックして[種類別に表示]をクリックします。

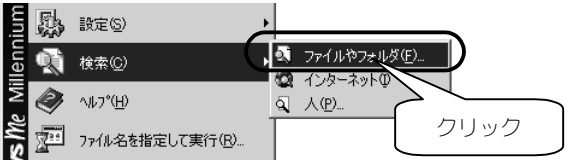


3 [ユニバーサル　シリアルバス　コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H301]を選択して、[削除]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。

5 [OK]をクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

6 [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]をクリックします。



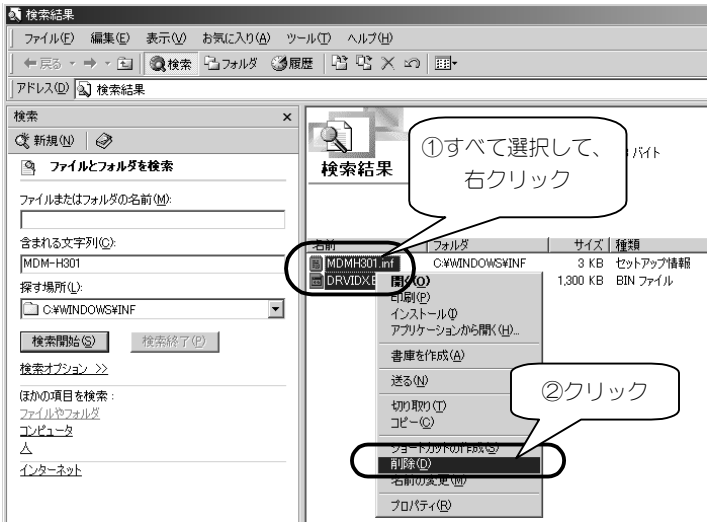
7 下記のように入力し、[検索開始]をクリックします。

[含まれる文字列]：MDM-H301
[探す場所]：C:¥WINDOWS¥INF

[探す場所]の入力方法

1. [探す場所]に表示されている項目をクリックします。
   探す場所(L):
   ローカル ハード ドライブ (C:;D:;F:)
2. [Delete]キーでその項目を削除します。
3. C:¥WINDOWS¥INF とキーボードから入力します。

8 検索結果のファイルをすべて選択して、右クリックし、[削除]をクリックします。



9 Windows を終了して、パソコンの電源を切り、USB ポートから本製品の USB ケーブルを抜きます。

これでサポートソフトの削除は完了です。

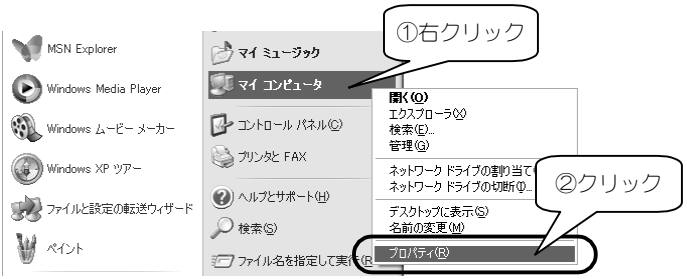
サポートソフトの削除（Windows XP 編）

チェック

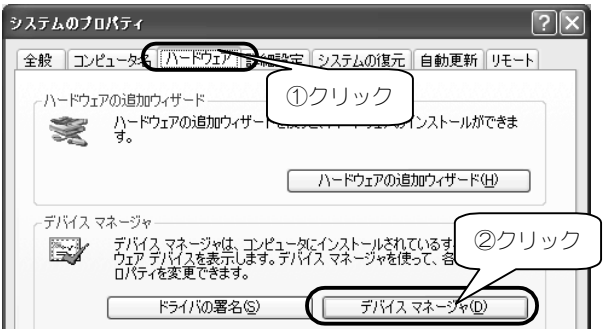
以下の準備ができていることを確認してください。

- 本製品がパソコンに接続してあること

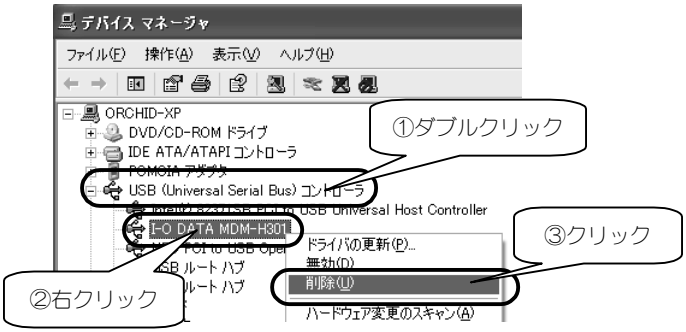
1 [スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



3 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H301]を右クリックし、[削除]をクリックします。

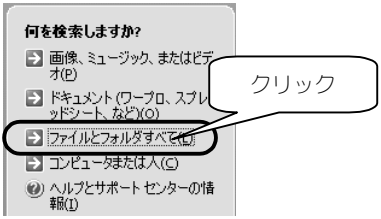


4 [OK]をクリックします。

5 画面右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

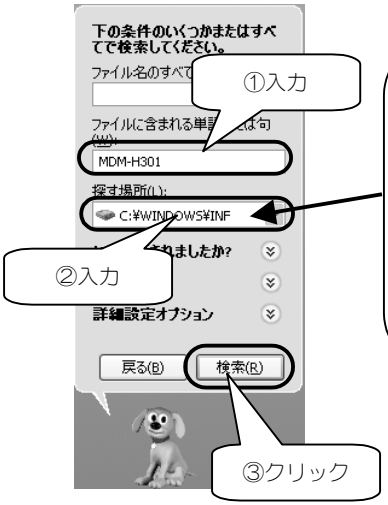
6 [スタート]→[検索]をクリックします。

7 [ファイルとフォルダすべて]をクリックします。



8 下記のように入力し、[検索]をクリックします。

[ファイルに含まれる単語または句]：MDM-H301
[探す場所]：C:¥WINDOWS¥INF

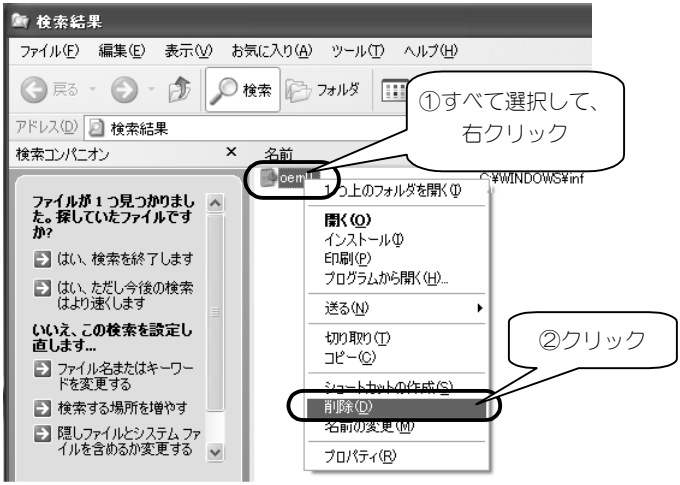


[探す場所]の入力方法

1. [探す場所]に表示されている項目をクリックします。
2. [Delete]キーでその項目を削除します。
3. C:¥WINDOWS¥INF とキーボードから入力します。

9 検索結果のファイルをすべて選択して、右クリックし、[削除]をクリックします。

※表示されるファイル名はお使いの環境により異なります。



10 Windows を終了して、パソコンの電源を切り、パソコンの USB ポートから本製品の USB ケーブルを抜きます。

これでサポートソフトの削除は完了です。

サポートソフトの削除（Windows 2000 編）

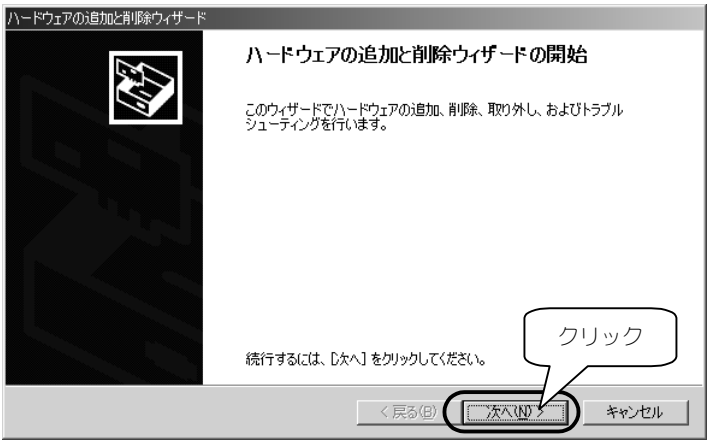
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

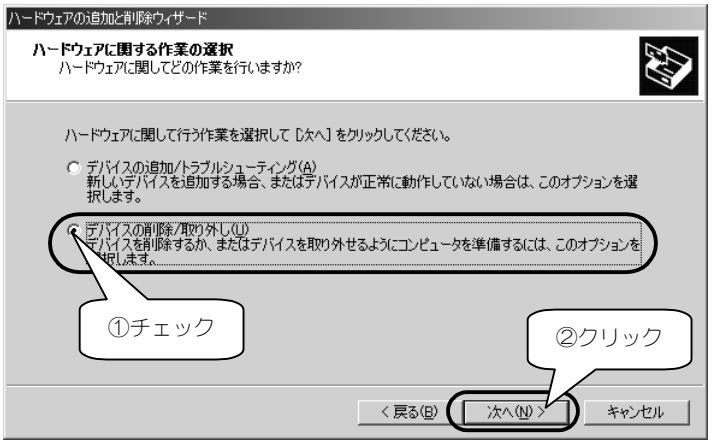
- 本製品がパソコンに接続してあること

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックします。

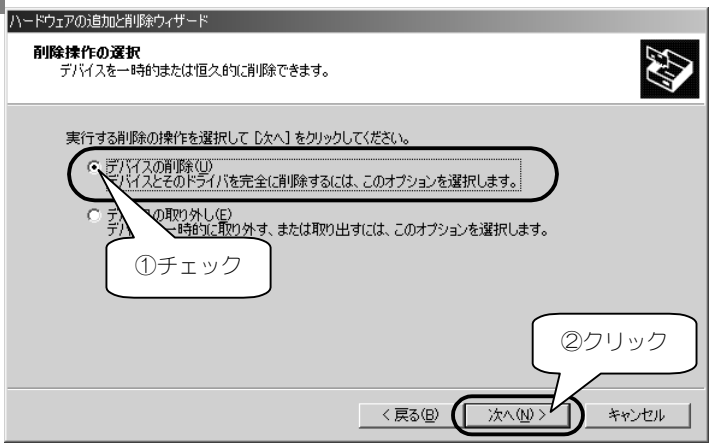
2 [次へ]をクリックします。



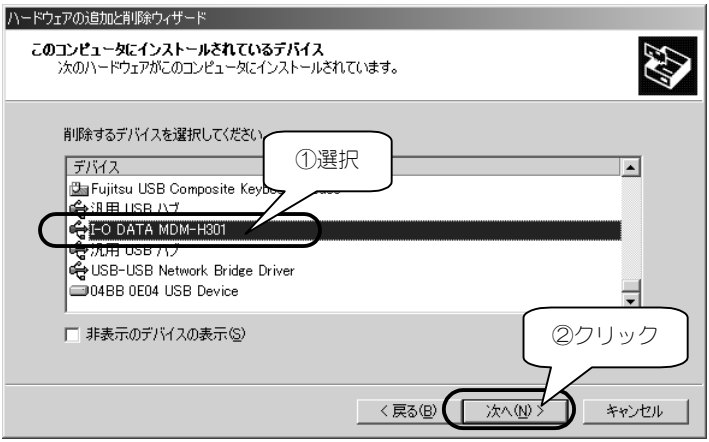
3 [デバイスの削除/取り外し]をチェックして、[OK]をクリックします。



4 [デバイスの削除]をチェックして、[OK]をクリックします。

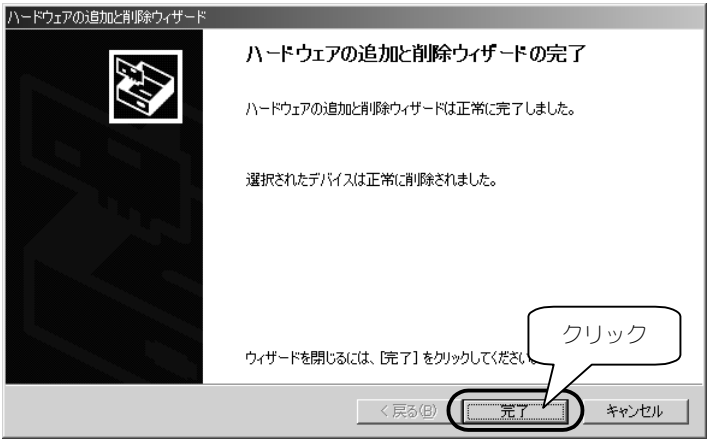


5 [I-O DATA MDM-H301]を選択して、[次へ]をクリックします。

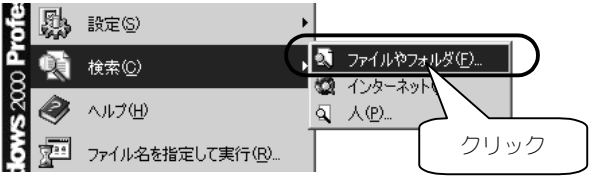


6 [はい、このデバイスを削除します]をチェックして、[次へ]をクリックします。

7 下記の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



8 [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]をクリックします。



9 下記のように入力し、[検索開始]をクリックします。

[含まれる文字列]：MDM-H301

[探す場所]：C:¥WINNT¥INF

（Windows 2000 が C ドライブにインストールされている場合）

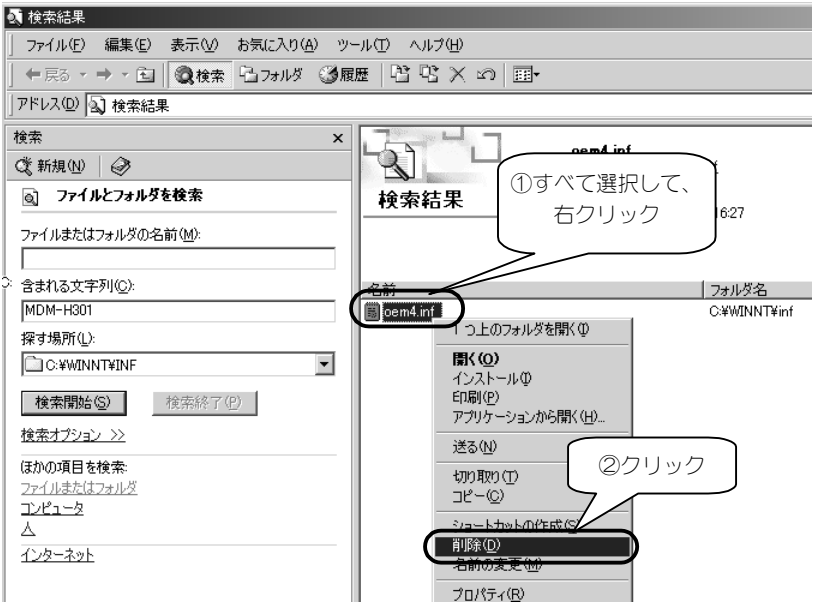
[探す場所]の入力方法

1. [探す場所]に表示されている項目をクリックします。

2. [Delete]キーでその項目を削除します。
3. C:¥WINNT¥INF とキーボードから入力します。

10 検索結果のファイルをすべて選択して、右クリックし、[削除]をクリックします。

※表示されるファイル名はお使いの環境により異なります。



11 パソコンの電源を切り、パソコンの USB ポートから本製品の USB ケーブルを抜きます。

これでサポートソフトの削除は完了です。

音楽を録音するまでのプロセス

本製品で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽データを用意し、それを本製品へ転送する必要があります。

音楽データを用意するには

- インターネットなどの音楽配信サービスを利用する
- 音楽 CD から作成する

の２通りがあります。

本製品で再生できるのは、次の３つの音楽データです。

- WMA 方式の音楽データ（著作権保護対応の DRM 付き WMA データ含む）
- MP3 方式の音楽データ
- AAC 方式の音楽データ（著作権保護対応の Liqiud Audio データ）

どの種類の音楽データを用意するかによって、作業が異なります。
音楽配信サービスをご利用いただくときは、そのサービスでサポートされている音楽データ方式を必ず確認してください。
音楽 CD を用意するときには、いずれかの音楽データへ変換して、本製品へ転送することになりますが、基本的にはどの方式へ変換しても OK です。

■音楽データの形式と対応ソフト

音楽データ	音楽 CD からの変換	本製品への転送
WMA 方式	Windows Media Player を使用する	同左
MP3 方式	BeatBox を使用する	ファイルコピーを使用する または BeatBox、Liquid Player、Windows Media Player のいずれかを使用する
AAC 方式	Liquid Player を使用する	同左

必要なソフトウェアをインストールしてお使いください。
ここでは、録音までの流れを、音楽データの形式別に説明します。

WMA 方式の音楽データの場合

「Windows Media Player」を使います。

音楽配信サービスを利用する場合

※Windows 98 をご使用の場合は下記の注意を参照してください。

WMA 方式に対応している音楽配信サイトから音楽データをダウンロードします。

↓

「Windows Media Player」を起動し、ダウンロードした音楽データをメディアライブラリへ追加します。
【参照】57 ページ「メディアライブラリに追加するには」

音楽 CD を用意する場合

「Windows Media Player」を起動し、音楽 CD の曲をメディアライブラリへコピーします。
メディアライブラリへのコピーが終わった段階で、音楽 CD の内容が WMA 方式の音楽データへと変換されます。
【参照】54 ページ「音楽 CD から WMA データを作成する」

↓

本製品を接続すると、「Windows Media Player」のポータブルデバイスとして認識されるので、メディアライブラリの音楽データを本製品へ転送します。
【参照】59 ページ「音楽データを本製品に転送する」

注意！

1. **音楽配信サイトからダウンロードした音楽データは、ポータブルデバイスへの転送が許可されていない場合があります。その場合は、本製品への転送を行うことができませんので、ご了承ください。**
2. **Windows 98 をご使用の場合は、著作権保護された WMA 方式音楽データのポータブルデバイスへの転送はサポートされていません。**

MP3 方式の音楽データの場合

MP3 データがパソコンに用意されていれば、マイコンピュータを使って、ファイルコピーするのが一番簡単な方法ですが、本製品付属の「BeatBox」、「Liquid Player」、「Windows Media Player」を使って録音することもできます。
音楽 CD を用意する場合は、本製品付属の「BeatBox」を使います。

音楽配信サービスを利用する場合

MP3 方式に対応している音楽配信サイトから音楽データをダウンロードします。

↓

本製品を接続すると、リムーバブルディスクとして認識されるので「マイコンピュータ」を使って、用意した MP3 データを本製品へ転送します。
【参照】49 ページ「ファイルコピーを使う」

または

- BeatBox を使って録音する
  【参照】67 ページ「ライブラリに追加するには」→69 ページ「音楽データを本製品に転送する」
- Liquid Player を使って録音する
  【参照】81 ページ「トラックプールに追加するには」→84 ページ「音楽データを本製品に転送する」
- Windows Media Player を使って録音する
  【参照】57 ページ「メディアライブラリに追加するには」→59 ページ「音楽データを本製品に転送する」

音楽 CD を用意する場合

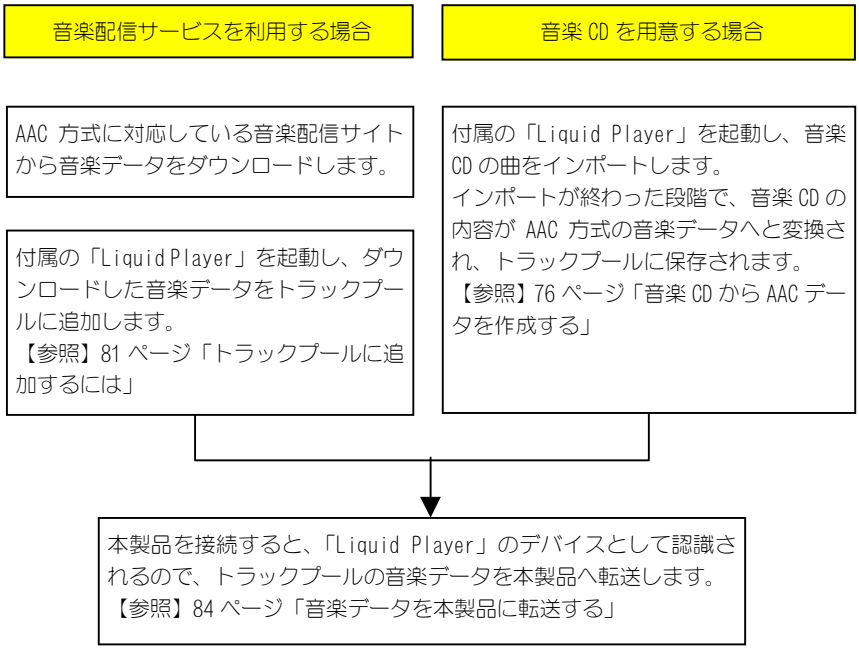
付属の「BeatBox」を起動し、音楽 CD の曲をレコーディングします。
レコーディングが終わった段階で、音楽 CD の内容が MP3 方式の音楽データへと変換し、ライブラリへ追加されます。
【参照】64 ページ「音楽 CD から MP3 データを作成する」

↓

本製品を接続すると、転送先として認識されるので、ライブラリの音楽データを転送します。
【参照】69 ページ「音楽データを本製品に転送する」

AAC 方式の音楽データの場合

本製品付属の「Liquid Player」を使います。



参考

インターネットから Liquid Player に対応した音楽配信サービス（EMD）をご利用になるには、以下の環境および手続きが必要です。

- インターネットへの接続環境（サービスプロバイダとの契約が必要です）
- 簡易パスポートまたは標準パスポート登録（75 ページ参照）
- 各音楽配信サービスの実施主体者へのお申込（詳しくはご利用になる音楽配信サービス事業者へお問い合わせください）

ファイルコピーを使う

本製品で再生したい音楽データが MP3 データであれば、簡単なファイル操作で本製品に音楽データを録音することができます。
録音したい MP3 データをハードディスクにご用意ください。

注意！

1. **著作権保護機能付きの音楽データ（DRM 付き WMA データ、AAC データ）はこの方法でコピーしても、本製品で再生することはできません。これらの音楽データを録音するときは、データ形式に応じた添付ソフトウェアをお使いください。**
2. **音楽 CD から MP3 データを作成する場合は、添付の「BeatBox」をお使いください。**

MP3 データを本製品に転送する

1 本製品をパソコンに接続します。

2 [マイコンピュータ]を起動して、ハードディスクの MP3 データを表示します。

3 再度[マイコンピュータ]を起動して、本製品に該当するリムーバブルディスクをダブルクリックします。

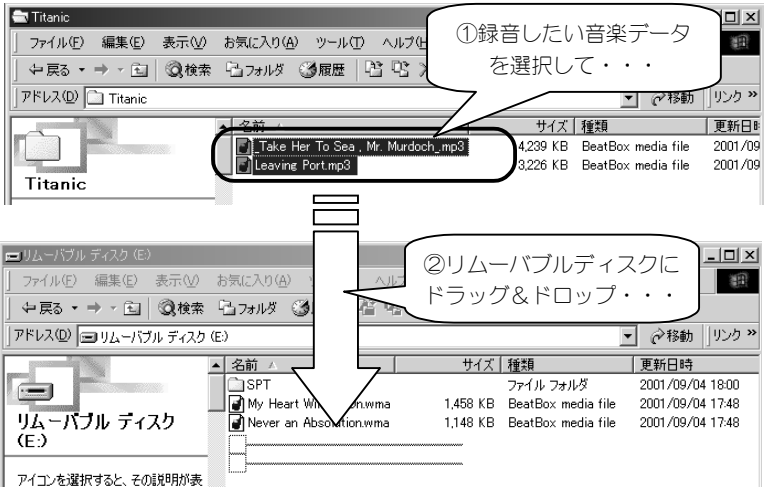
リムーバブルディスクが
表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」
105 ページ
をご参照ください。

リムーバブルディスクが複数表示され、
どれが本製品か分からない場合は…

「トラブルQ＆A」
106 ページ
をご参照ください。

4 ハードディスクの MP3 データを本製品のリムーバブルディスクにコピーします。



これで本製品に音楽が録音されました。
本製品をパソコンから取り外すには、29 ページ「本製品を取り外すには」を参照してください。
本製品で音楽を楽しむには、91 ページ「音楽を聴こう」を参照してください。

Windows Media Player を使う

ここでは、「Windows Media Player」の使い方を説明します。

- Windows Media Player のインストール：下記
- 音楽 CD から WMA データを作成する：54 ページ
- メディアライブラリに追加する：57 ページ
- 音楽データを本製品に転送する：59 ページ

注意！

1. **Windows XP をお使いの場合は、本製品添付の Windows Media Player 7.1 をインストールせず、OS 標準の Windows Media Player for XP をお使いください。**
2. **すでに Windows Media Player 7 以上がインストールされている場合は、本ソフトをインストールする必要はありません。**
3. **起動中のアプリケーション（常駐ソフト含む）はすべて終了させてからインストールしてください。**

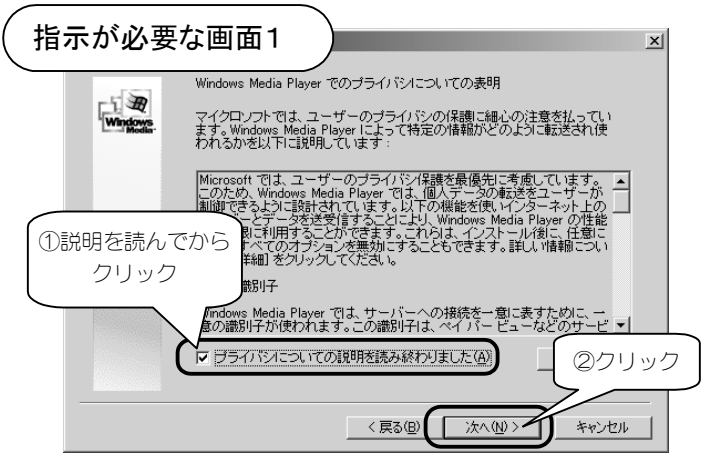
Windows Media Player のインストール

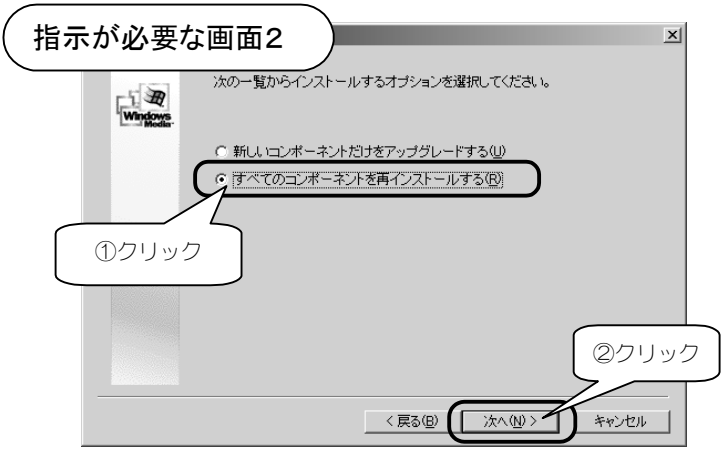
1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 しばらくすると、下記の画面が表示されるので、[Windows Media Player 7.1]をクリックします。

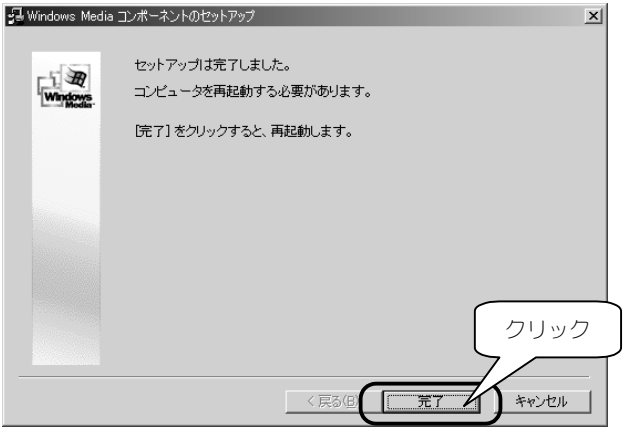
下記の画面が表示されない場合は[マイコンピュータ]などで、CD-ROM ドライブを開き、setup.exe をダブルクリックしてください。

3 画面の指示にしたがって、処理を進めます。
ここでは指示が必要な画面だけを表示します。その他の画面は[次へ]または[はい]をクリックして処理を進めてください。





4 [完了]をクリックします。



パソコンが再起動したら、インストール終了です。

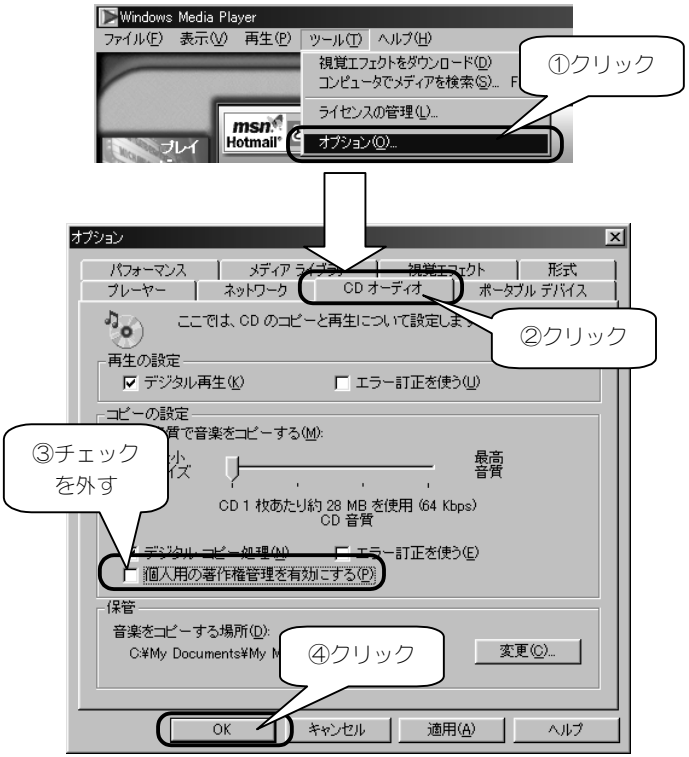
音楽 CD から WMA データを作成する

お使いの環境によっては、「Windows Media Player」を使用中にダイヤルアップ接続画面が表示される場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。

1 デスクトップの[Windows Media Player]アイコンをダブルクリックします。

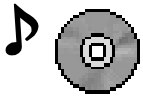
2 Windows 98 をお使いの場合は、以下の設定を行います（初めて使うときだけ）。他の Windows をお使いの場合は、必要に応じて設定してください。

※Windows 98 では、著作権保護されている WMA 方式音楽データのポータブルプレーヤーへの転送がサポートされていません。



3 [CD オーディオ]をクリックします。

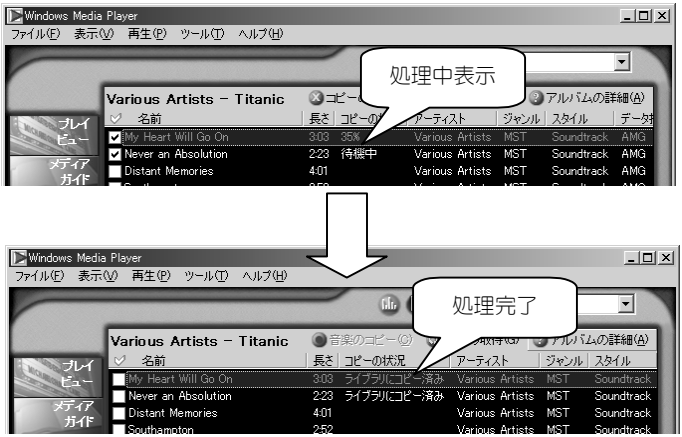
4 用意した音楽 CD を CD-ROM ドライブにセットすると曲情報を入手して表示します。表示されない場合は[名前の取得]をクリックします。



インターネットに接続していない場合や音楽CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。

5 WMA データに変換したい曲をチェックして、[音楽のコピー]をクリックします。

6 コピー(データ変換)を開始します。
選択した曲がすべて「ライブラリにコピー済み」と表示されたら、処理完了です。



これで音楽 CD の内容が WMA 方式の音楽データに変換され、メディアライブラリにコピーされました。
メディアライブラリの内容を本製品に転送するには、59 ページ「音楽データを本製品に転送する」を参照してください。

メディアライブラリに追加する

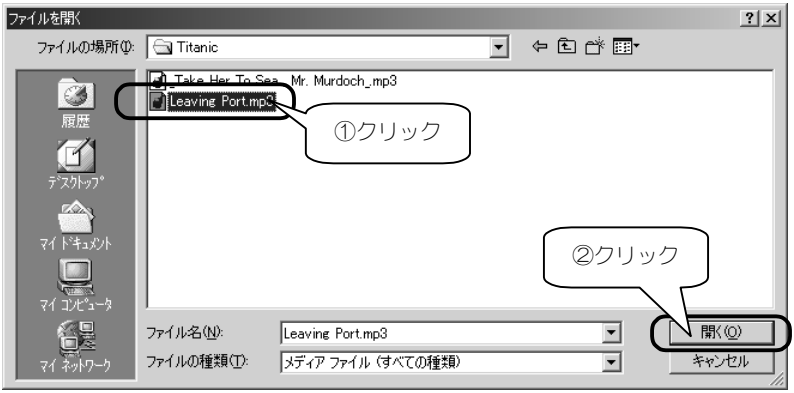
音楽配信サービスなどで入手した音楽データを本製品に転送するには、まず、メディアライブラリに追加することが必要です。（**音楽 CD から作成したデータはメディアライブラリに自動的に追加されているので以下の作業を行う必要はありません**）
メディアライブラリには WMA、MP3 のほか WAV データなども追加できますが、本製品に転送できるのは、WMA データ、MP3 データだけです。

1 デスクトップの[Windows Media Player]アイコンをダブルクリックします。

2 初期画面が表示されたら、[メディアライブラリ]をクリックします。

3 をクリックして、[ファイルを追加]をクリックします。

4 メディアライブラリに追加したい音楽データを選択して、[開く]をクリックします。



5 選択した音楽データが、メディアライブラリに表示されます。

これで音楽データがメディアライブラリに追加されました。
メディアライブラリの内容を本製品に転送するには、次ページ「音楽データを本製品に転送する」を参照してください。

注意！

音楽配信サービスなどで入手した音楽データを使用する場合は、ライセンスを取得する必要があります。再生時などにライセンス発行の手続きが発生した場合は、指示に従いライセンスを取得してください。詳細は Windows Media Player のヘルプを参照するか各音楽配信サイトにご確認ください。

音楽データを本製品に転送する

1 本製品をパソコンに接続します。

2 [ポータブルデバイス]をクリックします。

3 転送先のデバイスとして本製品のドライブを選択します。

デバイスが表示されない場合は… → 「トラブルQ&A」108 ページをご参照ください。

デバイスが複数表示され、どれが本製品か分からない場合は… → 「トラブルQ&A」108 ページをご参照ください。

4 本製品に録音したい曲をチェックして、[音楽のコピー]をクリックします。

5 コピーを開始します。[現在の操作]がすべて完了と表示されたら、転送完了です。

注意！

転送中は絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

6 [×]をクリックして、Windows Media Player を終了します。

これで本製品に音楽が録音されました。
この後、本製品をパソコンから取り外すには、29 ページ「本製品を取り外すには」を参照してください。
本製品で音楽を楽しむには、91 ページ「音楽を聴こう」を参照してください。

Windows Media Player の詳しい操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

BeatBox を使う

ここでは、本製品付属の「BeatBox」の使い方を説明します。

- BeatBox のインストール：下記
- 音楽 CD から MP3 データを作成する：64 ページ
- ライブラリに追加するには：67 ページ
- 音楽データを本製品に転送する：69 ページ

注意！

1. **起動中のアプリケーション（常駐ソフト含む）はすべて終了させてからインストールしてください。**
2. **Windows 2000 環境でインストールするときは、ユーザー名 Administrator でログオンしてください。**

BeatBox のインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

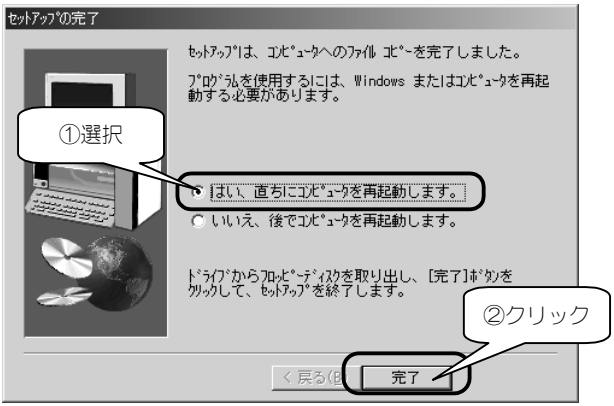
2 しばらくして下記の画面が表示されるので、[DigiOn BeatBox 1.5.2]をクリックします。

下記の画面が表示されない場合は[マイコンピュータ]などで、CD-ROMドライブを開き、setup.exeをダブルクリックしてください。

3 画面の指示にしたがってインストールを進めます。

[次へ]または[はい]をクリックして進めてください。

4 [はい、直ちに・・・]を選択し、[完了]をクリックします。



パソコンが再起動したら、インストール終了です。

■BeatBox をお使いになる前に■

株式会社デジオンへのユーザー登録を行ってください。
ユーザー登録は、株式会社デジオンの Web サイト（http://www.digion.com/）でのオンライン登録をご利用ください。（**ユーザー登録時に必要になる登録コードは、サポートソフト CD-ROM の表に印刷されています。**）
ユーザー登録を行うと、以下のようなメリットがあります。

- ユーザーサポート
  電話、FAX、e-mail によるサポートをお受けいただくことができます（ご登録いただいていないお客様は、電話サポートをご利用になれません）。
  電話番号：092-833-6288
  FAX 番号：092-833-6278
  メール：support@digion.com
- バージョンアップのご案内
  株式会社デジオンが新製品を発売したときなどに、お客様が新規に製品をご購入になるよりお得な料金でバージョンアップいただけるご案内をお送りします。

音楽 CD から MP3 データを作成する

お使いの環境によっては、「BeatBox」を使用中にダイヤルアップ接続画面が表示される場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。

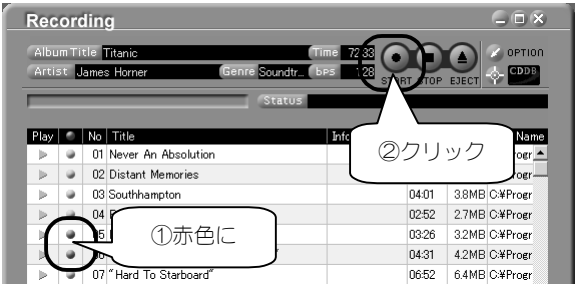
1 デスクトップの[BeatBox]アイコンをダブルクリックします。

2 初期画面が表示されたら、用意した音楽 CD を CD-ROM ドライブにセットして、[Rec]をクリックします。

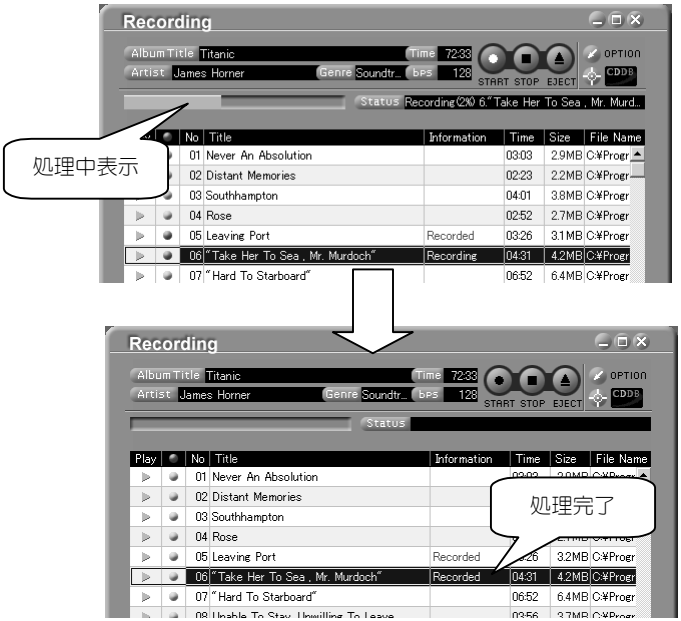
3 [CDDB]マークをクリックすると、インターネットに接続して、自動的に曲情報を表示します。

音楽CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。
その場合は、[Album Title]欄をダブルクリックして、タイトル名を入力してください。タイトル名が入力されていないと、レコーディング（MP3への変換）が出来ません。

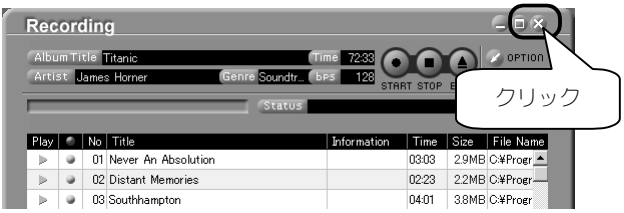
4 MP3 データに変換したい曲だけを赤色にチェックして、[START]をクリックします。



5 コピー（データ変換）を開始します。
選択した曲がすべて「Recorded」と表示されたら、処理完了です。



6 [×]をクリックして、レコーディングパネルを終了します。



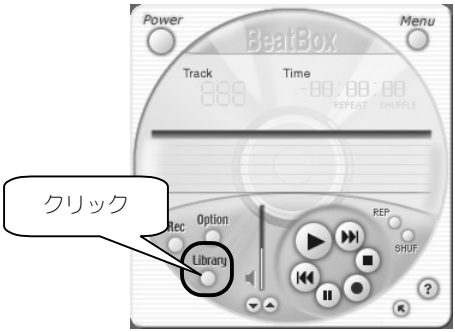
これで音楽 CD の内容が MP3 方式の音楽データに変換され、ライブラリに追加されました。ライブラリの内容を本製品に転送するには、69 ページ「音楽データを本製品に転送する」を参照してください。

ライブラリに追加するには

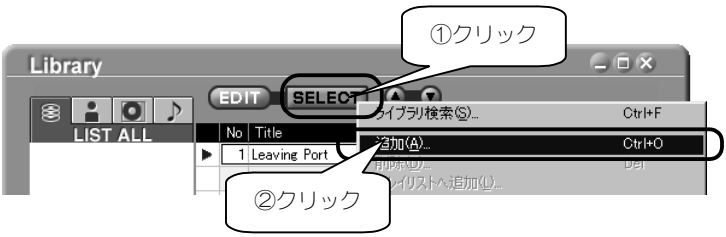
BeatBox を使って、音楽配信サービスなどで入手した音楽データを本製品に転送するには、まず、ライブラリに追加することが必要です。（**音楽 CD から作成したデータはライブラリに自動的に追加されているので以下の作業を行う必要はありません**）
ライブラリには、MP3 データのほか WMA、WAVE なども追加できますが、本製品に転送できるのは、MP3 データだけです。

1 デスクトップの[BeatBox]アイコンをダブルクリックします。

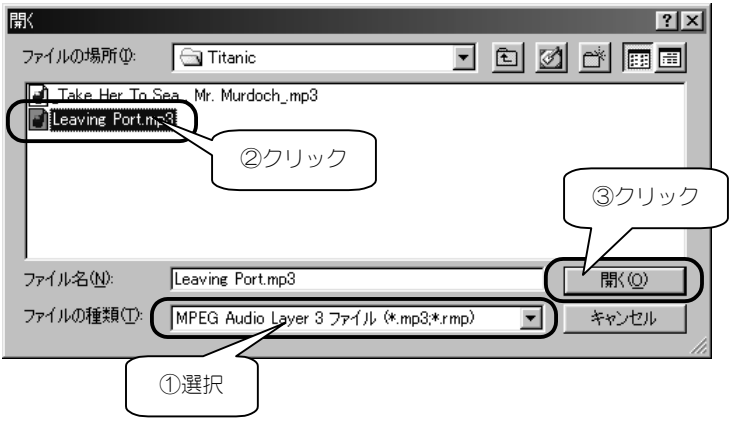
2 初期画面が表示されたら、[Library]をクリックします。



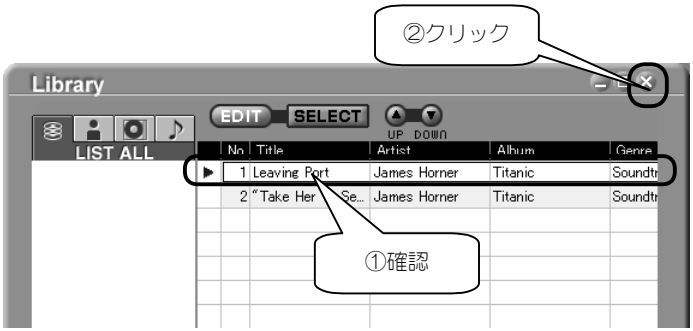
3 [SELECT]をクリックして、[追加]をクリックします。



4 ライブラリに追加したい音楽データを選択し、[開く]をクリックします。



5 選択した音楽データが追加されたことを確認して、[×]をクリックして、ライブラリパネルを閉じます。

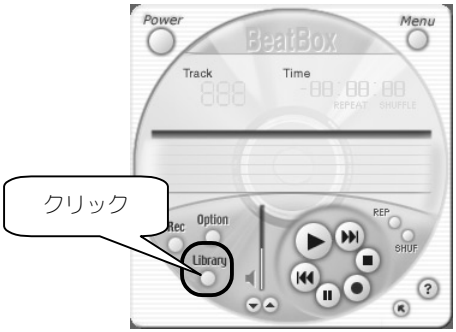


これで音楽データがライブラリに追加されました。
ライブラリの内容を本製品に転送するには、次ページ「音楽データを本製品に転送する」を参照してください。

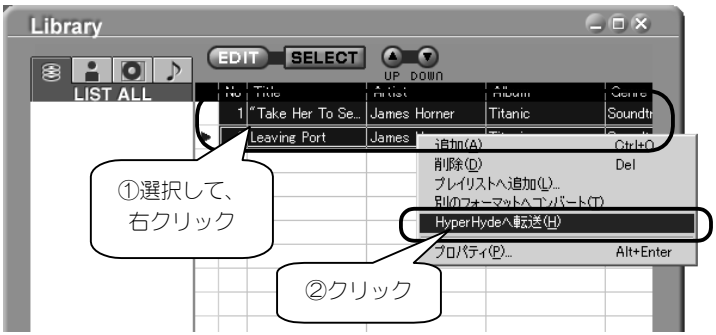
音楽データを本製品に転送する

1 本製品をパソコンに接続します。

2 [Library]をクリックします。



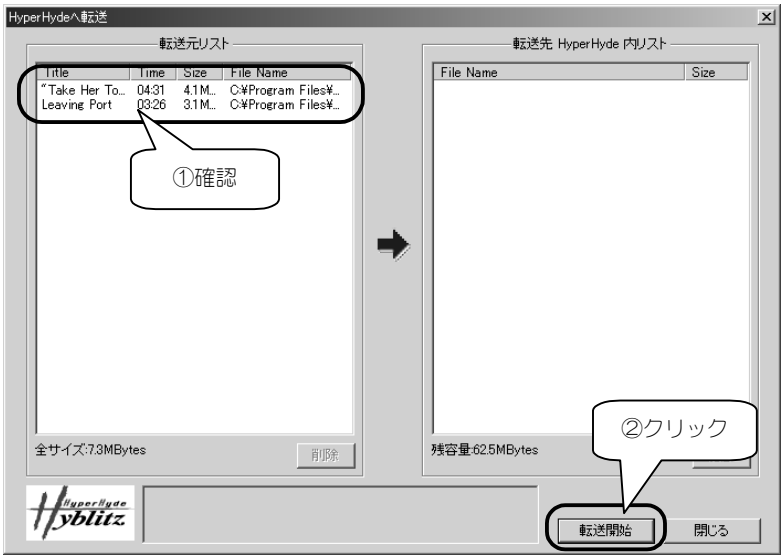
3 本製品に録音したい音楽データを選択して、右クリックし、[HyperHyde へ転送]をクリックします。



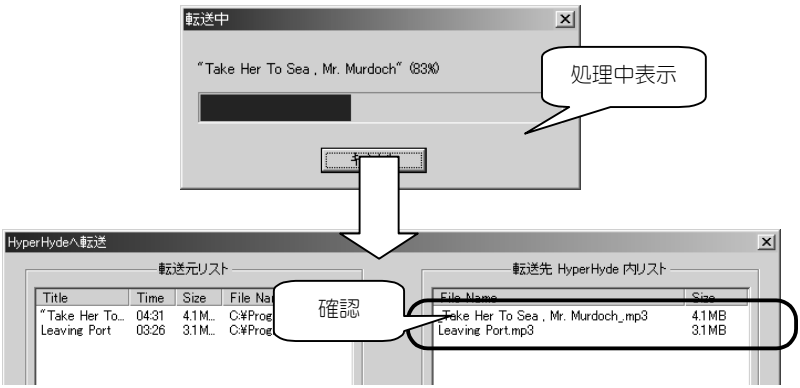
[HyperHyde へ転送]が
選択できない場合は…

「トラブルQ&A」
108 ページ
をご参照ください。

4 転送元リスト（左側）に転送したい曲が表示されていることを確認して、[転送開始]をクリックします。



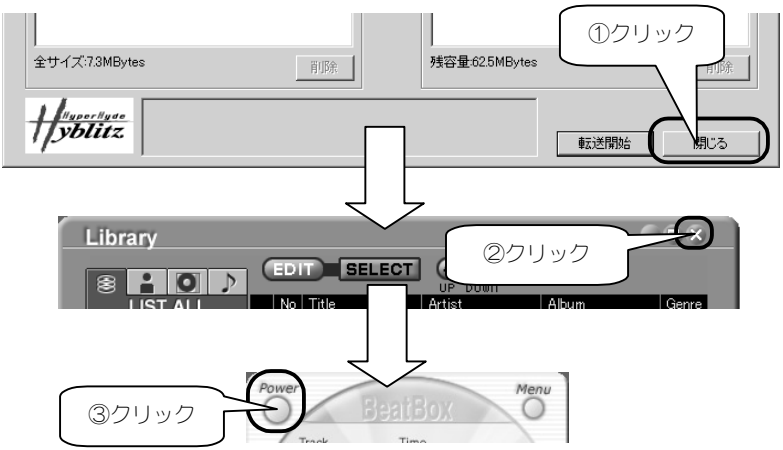
5 転送を開始します。右側の[転送先 HyperHyde 内リスト]に転送したい曲がすべて表示されたら、転送完了です。



注意！

転送中は絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

6 画面をすべて閉じて、BeatBox を終了します。



これで本製品に音楽が録音されました。
この後、本製品をパソコンから取り外すには、29 ページ「本製品を取り外すには」を参照してください。
本製品で音楽を楽しむには、91 ページ「音楽を聴こう」を参照してください。

BeatBox の詳しい操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

Liquid Player を使う

ここでは、本製品付属の「Liquid Player」の使い方を説明します。

- Liquid Player のインストール：下記
- 音楽 CD から AAC データを作成する：76 ページ
- トラックプールに追加するには：81 ページ
- 音楽データを本製品に転送する：84 ページ

注意！

1. **起動中のアプリケーション（常駐ソフト含む）はすべて終了させてからインストールしてください。**
2. **Windows 2000 環境でインストールするときは、ユーザー名 Administrator でログオンしてください。**

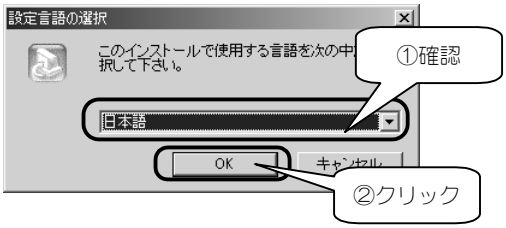
Liquid Player のインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 しばらくして下記の画面が表示されるので、[Liquid Player 5.4]をクリックします。

下記の画面が表示されない場合は[マイコンピュータ]などで、CD-ROMドライブを開き、setup.exeをダブルクリックしてください。

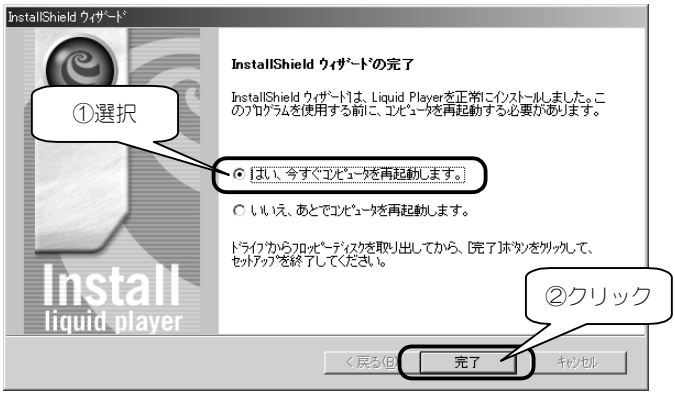
3 [日本語]になっていることを確認して、[OK]をクリックします。



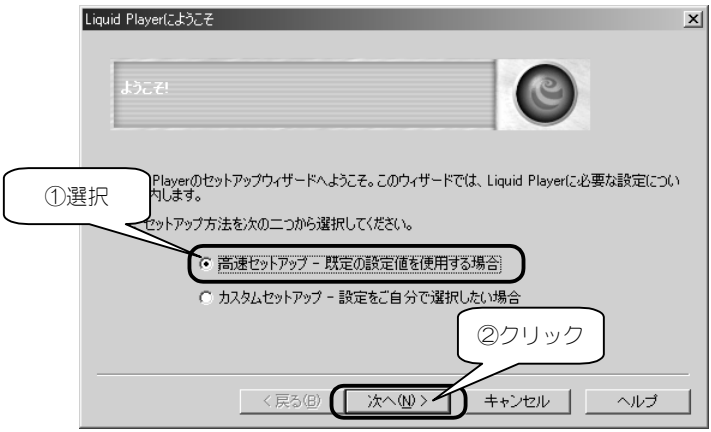
4 画面の指示にしたがってインストールを進めます。

[次へ]または[はい]をクリックして進めてください。

5 [はい、今すぐ･･･]を選択し、[完了]をクリックします。

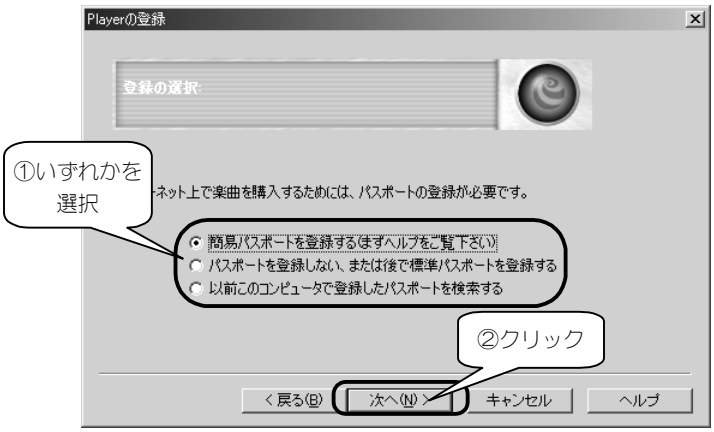


6 パソコンが再起動したら、以下の画面が表示されます。[高速セットアップ]を選択し、[次へ]をクリックします。

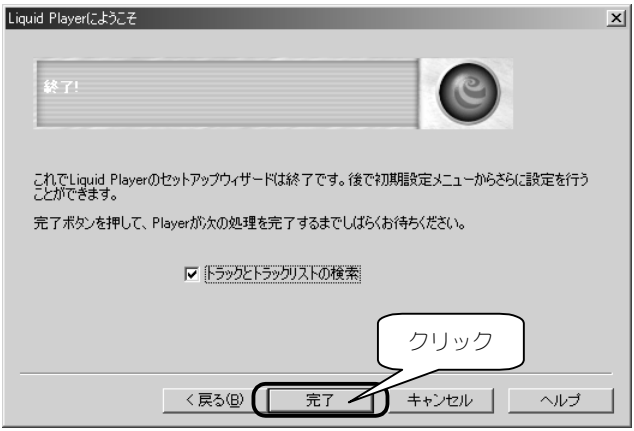


7 パスポート登録のいずれかを選択し、[次へ]をクリックします。

選択によって次の画面が異なります。画面の指示にしたがって処理を進めてください。パスポートについては次ページを参照してください。



8 下記の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



9 Liquid Player が起動します。

参考

パスポートには、次の２種類があります。

- 簡易パスポート：Liquid Player をインストールしたパソコンでのみ、音楽データをダウンロードできます。
- 標準パスポート：複数のパソコンで音楽データのダウンロードができます。ただし、本製品への転送は、最初にダウンロードしたパソコンでしか、できません。
  クレジットカードの番号や個人情報の入力が必要になります。

パスポート登録時には、お客様のセキュリティ保護のため、SSL 通信（暗号通信）を行います。そのため、プロキシサーバーなどで SSL 通信が出来ない環境（企業からのアクセスなど）にあるお客様はご利用できない場合があります。その場合はネットワーク管理者にご相談ください。

音楽 CD から AAC データを作成する

お使いの環境によっては、「Liquid Player」を使用中にダイヤルアップ接続画面が表示される場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。
Liquid Player が起動している場合は、手順**2**から始めてください。

1 デスクトップの[Liquid Player]アイコンをダブルクリックします。

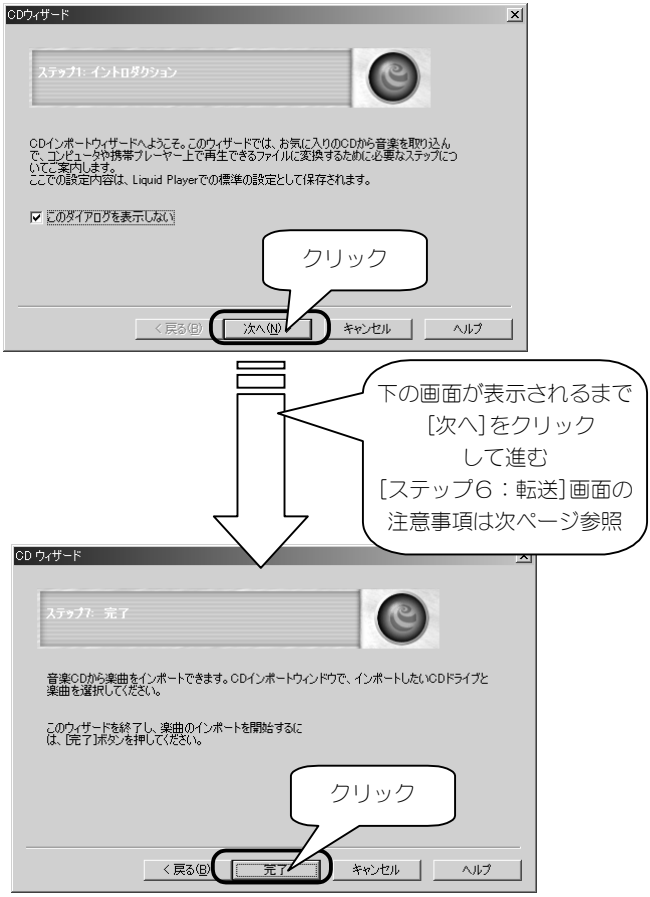
2 初期画面が表示されたら、用意した音楽 CD を CD-ROM ドライブにセットします。

注意！

音楽 CD をセットしたとき、他のプレーヤーソフト（Windows Media Player など）が起動した場合は、そのソフトを終了させてください。

3 [楽曲のインポート]をクリックします。

4 初めて[楽曲のインポート]を選択した場合、設定画面が表示されます。
設定はいつでも変更できるので、とりあえずここでは、完了画面が出るまで[次へ]をクリックします。

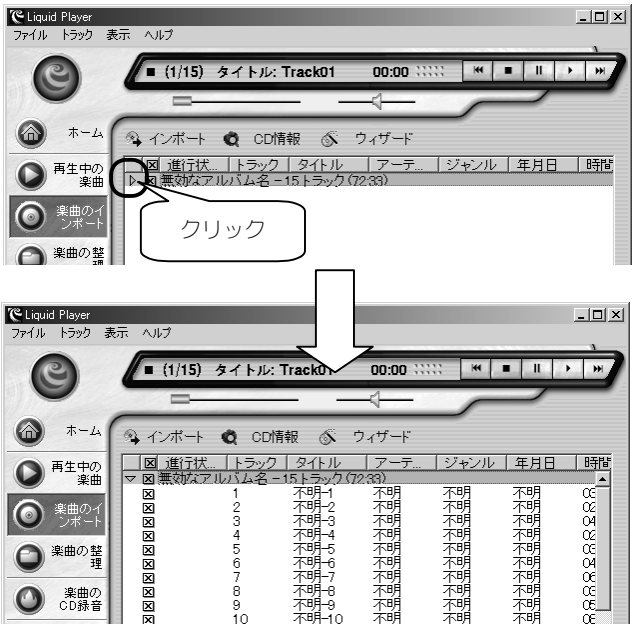


注意！

本製品を接続した状態で[楽曲のインポート]を選んだ場合は、[ステップ6：転送]の画面（下記）では、[はい]が標準設定になります。
この場合、次ページ手順 8 でインポートが終了すると、すぐに本製品への転送が始まります。インポート終了後は、86 ページ手順 6 へ進んでください。

（本製品を接続した状態で、楽曲のインポートを選んだ場合の標準設定）

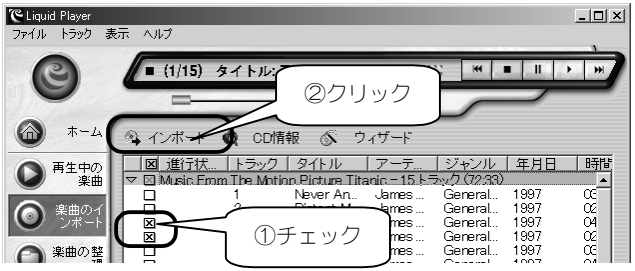
5 三角マークをクリックして、音楽 CD 内の全曲を表示します。



6 [CD 情報]をクリックすると、インターネットに接続して、自動的に曲情報を表示します。

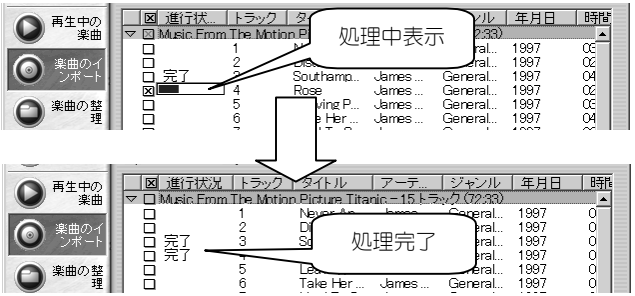
音楽CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。

7 AAC データに変換したい曲だけをチェックして、[インポート]をクリックします。



8 インポート(データ変換)を開始します。

選択した曲がすべて[完了]と表示されたら、処理終了です。



注意！

転送中は絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

これで音楽 CD の内容が AAC 方式の音楽データに変換され、トラックプールに追加されました。トラックプールの内容を本製品に転送するには、84 ページ「音楽データを本製品に転送する」を参照してください。

[CD インポート後に携帯プレーヤーに自動転送する]という設定になっている場合（78 ページの注意事項参照）、インポート終了後に本製品への転送を開始します。86 ページ手順 **6** へ進んでください。

トラックプールに追加するには

音楽配信サービスなどで入手した音楽データを本製品に転送するには、まず、トラックプールに追加することが必要です。（**音楽 CD から作成したデータはトラックプールに自動的に追加されているので以下の作業を行う必要はありません**）

トラックプールに追加できるのは、AAC データ、MP3 データです。

（WMA データもトラックプールに追加できますが、本製品へ転送することはできません）

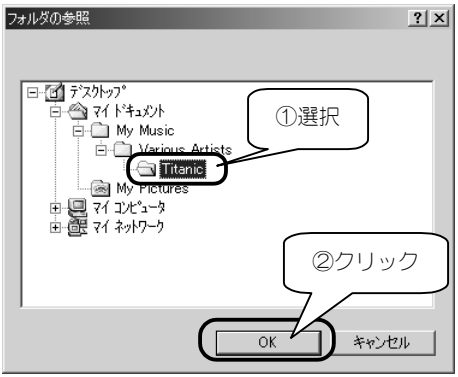
1 デスクトップの[Liquid Player]アイコンをダブルクリックします。

2 [楽曲の整理]をクリックします。

3 [検索]をクリックします。

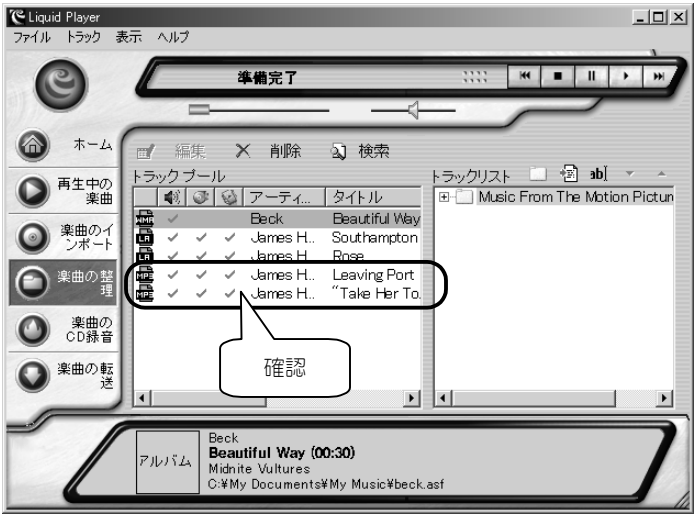
4 [参照]をクリックします。

5 追加したい音楽データが入っているフォルダを選択し、[OK]をクリックします。



6 [検索]をクリックします。

7 フォルダに入っている音楽データがトラックプールに表示されたことを確認します。



トラックプールの記号

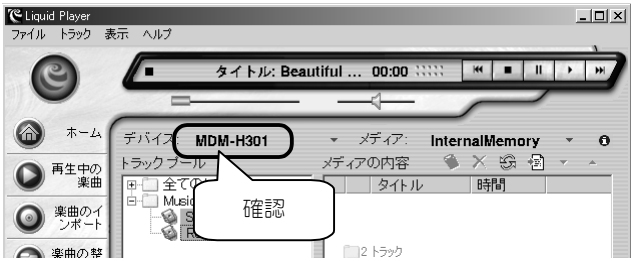
	音楽データの形式を示します。
	チェックマークが付いている音楽データはこのソフトで再生できます。
	チェックマークが付いている音楽データはこのソフトで CD に録音できます。（CD-R ドライブが必要です）
	チェックマークが付いている音楽データはこのソフトで本製品に転送（録音）可能です。

音楽データを本製品に転送する

1 本製品をパソコンに接続します。

2 [楽曲の転送]をクリックします。

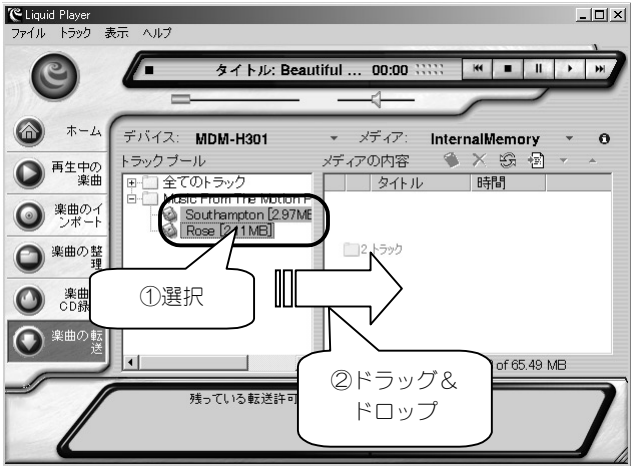
3 デバイスに「MDM-H301」と表示されていることを確認します。



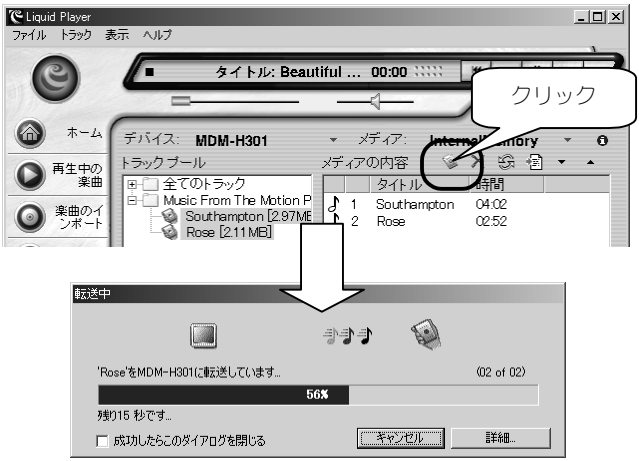
MDM-H301 が
表示されない場合は…

「トラブルQ&A」
108 ページ
をご参照ください。

4 本製品に録音したい曲を選択し、右側のメディアの内容へドラッグ &ドロップします。



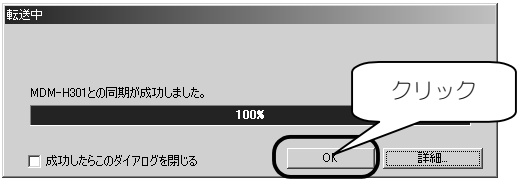
5 をクリックすると、本製品への録音を開始します。



注意！

転送中は絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

6 下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。



録音がすべて完了すると、曲名の前の♪が♪に変わります。

7 画面右上の[×]をクリックして、Liquid Player を終了します。

これで本製品に音楽が録音されました。
この後、本製品をパソコンから取り外すには、29 ページ「本製品を取り外すには」を参照してください。
本製品で音楽を楽しむには、91 ページ「音楽を聴こう」を参照してください。

Liquid Player の詳しい操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

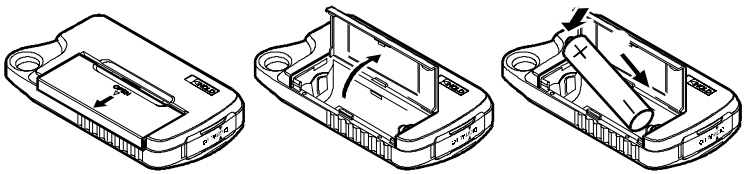
3 Macintosh で使うには

ここでは Macintosh をお使いの場合の作業を説明します。Windows の場合は 13 ページを参照してください。

接続から充電まで

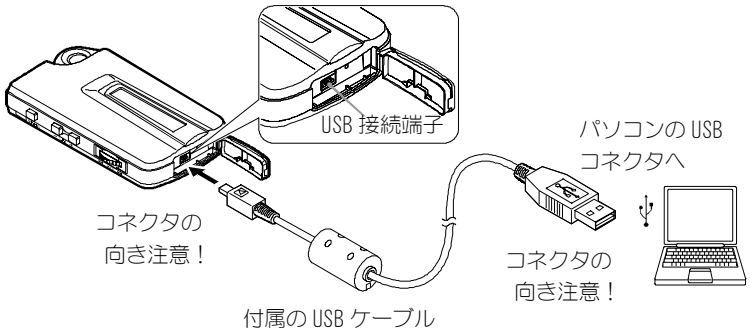
本製品を接続する

1 付属の充電池または単 4 アルカリ乾電池を本製品に入れます。



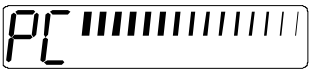
2 本製品をパソコンに接続します。

本製品のコネクタカバーを開け、付属の USB ケーブルの小さい方のコネクタを本製品に、大きい方をパソコンの USB コネクタに差し込みます。



3 [名称未設定]のドライブアイコンがマウントされます。

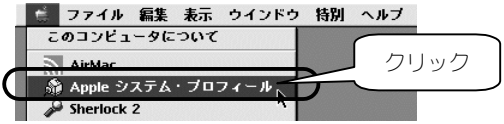
4 本製品の表示パネルが以下のように表示されることを確認してください。



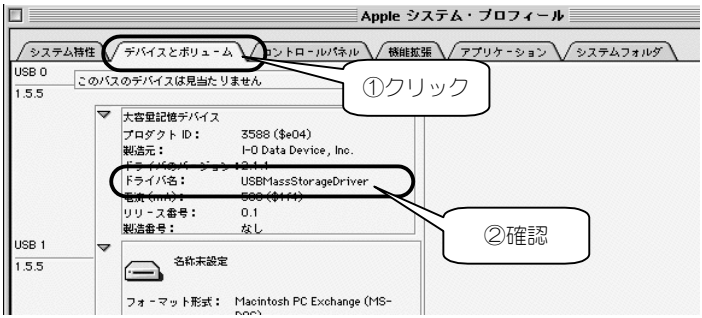
次は本製品が正しく認識されているかどうか、確認してみましょう。

接続後の確認

1 アップルメニューから[Apple システム・プロフィール]を起動します。



2 [装置(またはデバイス)とボリューム]タブをクリックして、USB に接続されている[大容量記憶デバイス]のドライバ名が[USBMassStorageDriver]となっていることを確認します。



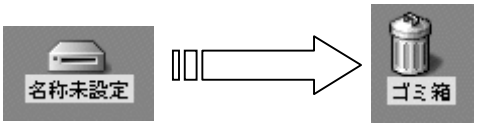
3 左上の□ボタンをクリックして、画面を閉じます。

充電しよう

26 ページ「充電しよう」を参照してください。

本製品を取り外すには

1 本製品のドライブアイコンをゴミ箱にドラッグ &ドロップします。



ドラッグ&ドロップ

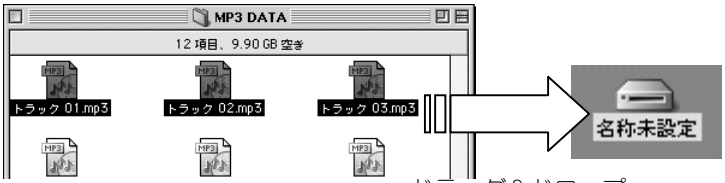
2 表示パネルのインジケータが点滅していないことを確認して、パソコンの USB ケーブルを抜きます。

音楽を録音するには

本製品が Macintosh 環境でサポートしているのは、MP3 方式の音楽データです。
本製品で音楽を楽しむには、まずパソコンに MP3 方式の音楽データを用意し、それを本製品へ転送する必要があります。
MP3 データはインターネットなどの音楽配信サービスを利用するか、別途ソフトウェアを用意して音楽 CD から作成してください。

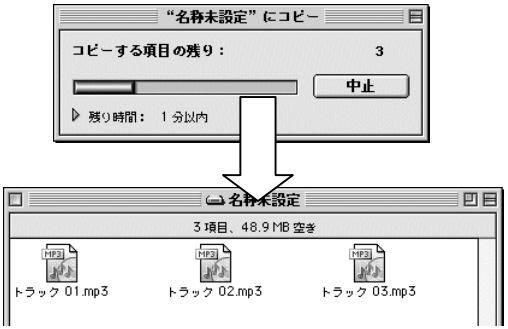
音楽を録音するには、ハードディスクからリムーバブルドライブに MP3 データをドラッグ＆ドロップなどで転送するだけです。

1 録音したい MP3 データを、本製品のドライブアイコンにドラッグ＆ドロップします。



ドラッグ＆ドロップ

2 コピーが終了すれば、録音完了です。



3 89 ページを参照して、本製品を取り外します。

本製品で音楽を楽しむには、91 ページ「音楽を聴こう」を参照してください。

4 音楽を聴こう

基本操作

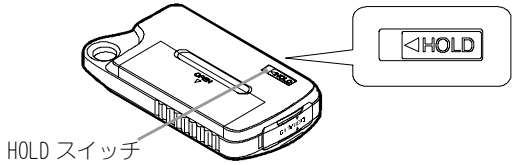
まずは音楽を再生するための操作を説明します。

チェック

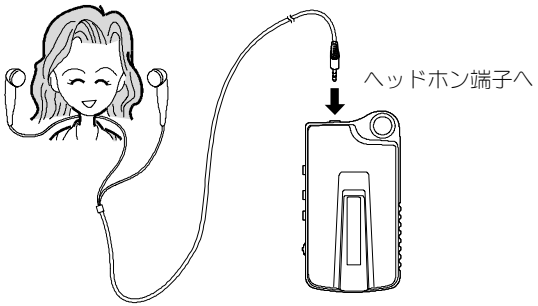
以下の準備ができていることを確認してください。

- 本製品がパソコンから取り外されていること
- 専用充電池またはアルカリ乾電池をセットしてあること

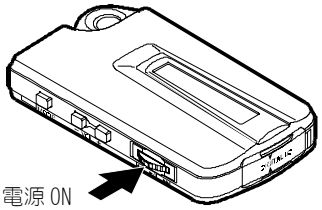
1 本製品裏面の HOLD スイッチが OFF（右側にスライド）になっていることを確認します。



2 ステレオイヤホンを付けます。



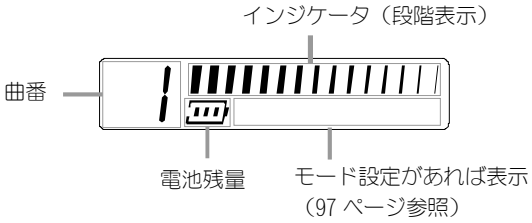
3 ジョグスイッチを押して、本製品の電源を入れます。



表示パネルにバックライトが点灯し、「00」と表示されます

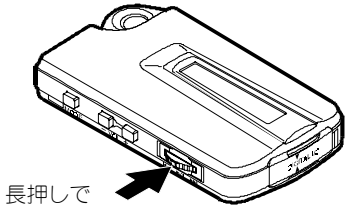
4 音楽を再生します。

再生中の表示パネルを下記に示します。
再生中の操作については、次ページを参照してください。



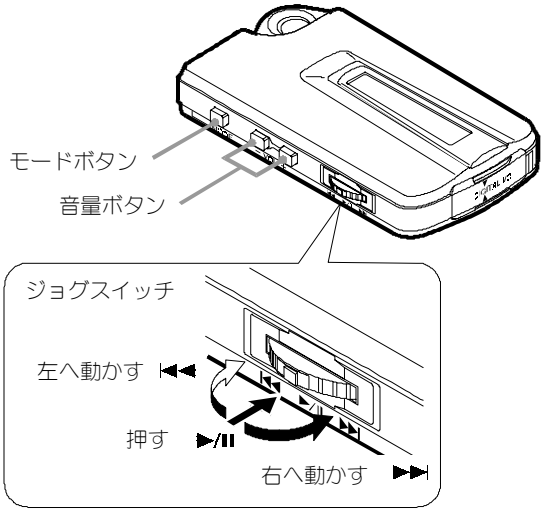
5 ジョグスイッチを約 3 秒間長押しすると、電源が切れます。

表示パネルに「OF」と表示されるまで、ジョグダイヤルを押し続けてください。
出荷時設定では、全曲再生すると自動的に電源が切れます。



表示パネルにバックライトが点灯し、「OF」と表示されてから電源が切れます

再生中のいろいろな操作



したいこと	操作	表示パネル
電源を切りたい	ジョグスイッチを長押しする	曲番表示域に「0F」と表示
音量を変えたい	音量ボタン＋、－を押す（0～20）	曲番表示域に音量レベルを表示
一時停止したい	ジョグスイッチを押す 一時停止状態で約 10 秒間操作しないと自動的に電源が切れます。 この後、再度電源を入れると、一時停止した曲から再生します。	インジケータが点滅
一時停止を解除して再生したい	一時停止中にジョグスイッチを押す	インジケータが段階表示
次の曲を再生したい	ジョグスイッチを右に動かす（*1）	再生する曲番を表示
再生中の曲を先頭から再生したい	ジョグスイッチを左に１回動かす	－
前の曲を再生したい	ジョグスイッチを左に動かす（*1）	再生する曲番を表示

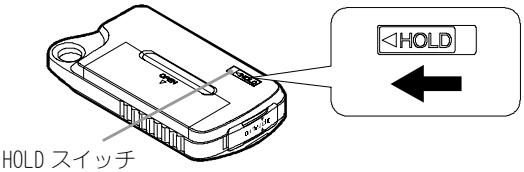
したいこと	操作	表示パネル
早送りしたい（*2）	ジョグスイッチを右に動かしたままにする	インジケータが右に早く表示
早戻ししたい（*2）	ジョグスイッチを左に動かしたままにする	インジケータが左に早く表示
リピート再生したい	モードボタンを押す（96 ページ「モードの設定」参照）	曲番表示域にモードを表示
音質や音を変えたい	モードボタンを押す（96 ページ「モードの設定」参照）	曲番表示域にモードを表示
操作時のビープ音を変えたい	モードボタンを押す（96 ページ「モードの設定」参照）	曲番表示域にモードを表示
ジョグスイッチの機能を切り替えたい	モードボタンを押す（96 ページ「モードの設定」参照）	曲番表示域にモードを表示
著作権保護を切り替えたい	モードボタンを押す（96 ページ「モードの設定」参照）	曲番表示域にモードを表示
録音した曲をすべて削除したい	モードボタンを押す（96 ページ「モードの設定」参照）	曲番表示域にモードを表示

＊1. オペレーション設定が「Sk」になっているときは、ジョグスイッチを右または左に押し続けると、次または先の曲の頭出しをします。
（98 ページ「オペレーション」参照）

＊2. オペレーション設定が「SE」になっているときのみ有効。
（98 ページ「オペレーション」参照）

誤操作防止機能

本製品裏面の HOLD スイッチを矢印の方向へスライドします。
HOLD 状態になっていると、どの操作ボタンを押しても操作を受け付けません（表示パネルには「Hd」と表示）。電源 OFF の状態で HOLD スイッチを ON にしておくと、電源を入れても、すぐに切れます。
HOLD スイッチを逆方向にスライドすると、HOLD 状態が解除されます。



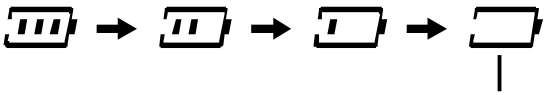
電池について

電池の連続再生時間は、以下の通りです。

付属の充電池：約 4 時間

市販のアルカリ乾電池：約 5.5 時間

電池の残量は表示パネルに表示されています。電池残量は以下のように変わります。残量が少なくなると、ビープ音の後、表示パネルに「L0」と表示されて、電源が切れます。



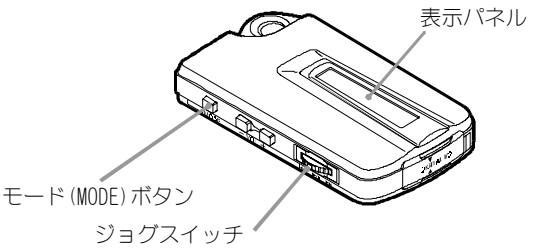
電池を充電、または、交換してください

注意！

1. **充電池は使用せずに放置した場合でも自己放電します。必ず充電してからお使いください。**
2. **充電池は使用状況によって異なりますが、約 500 回繰り返し充電ができます。**
3. **「電池について」vi ページ～の注意事項をよくお読みの上、お使いください。**

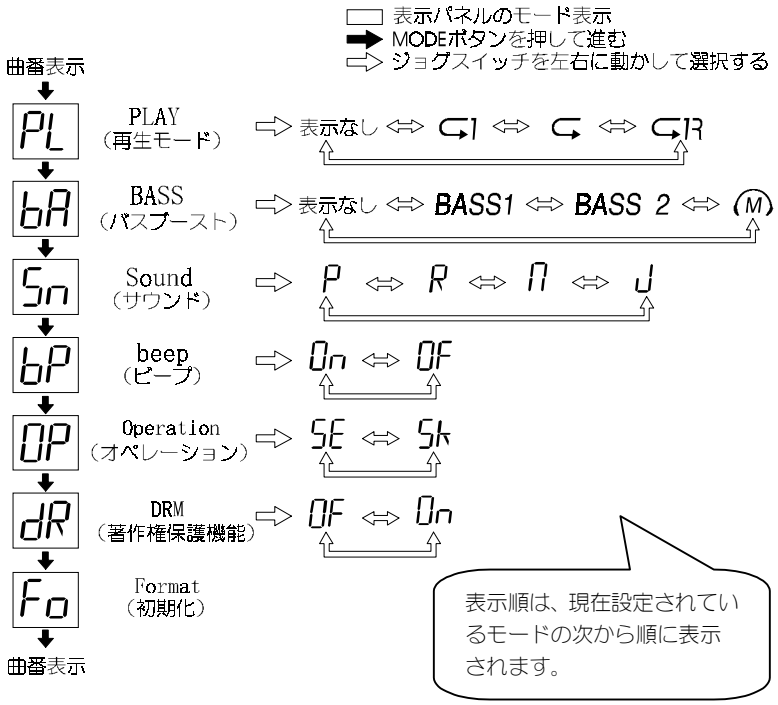
モードの設定

ここでは本製品のモード設定について説明します。これらの設定は、音楽再生中にモードボタンを押し、ジョグスイッチを使って行います。モードを設定するときは、音楽を録音してから行ってください。
設定の内容は表示パネルに表示されます。



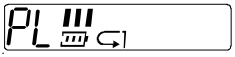
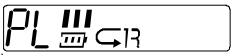
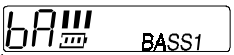
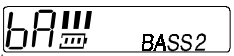
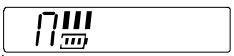
モード一覧

操作ボタンと表示パネルの遷移を示します。



モードの詳細

モードを切り替えるときはモードボタン、設定内容を切り替えるときはジョグスイッチを使います。設定したい内容を表示させた後、しばらく操作をしないでいるとその設定が確定され、通常の再生画面に戻ります。

モード	設定内容
PL（再生モード）	再生時のリピート状態を切り替えます。 全曲１回のみ再生  １曲リピート 全曲リピート  ランダムリピート
bA（バスブースト）	音質を切り替えます。 通常再生  バス再生１  バス再生２ マナーモード マナーモードとはヘッドホンから漏れる音を抑え周りの人の迷惑になる場所での再生に効果的です。
Sn（サウンド）	音楽に合った音に切り替えます。 ポップ ロック  ノーマル ジャズ

モード	設定内容
bP （ビープ音）	ボタンを操作時のビープ音の有無を切り替えます。 On ビープ音あり OF ビープ音なし
OP （オペレーション）	ジョグスイッチを左または右に押し続けたときの操作を切り替えます。 SE スキップ/サーチ兼用 再生曲内の早送りまたは早戻しを行います。 Sk スキップ専用 次々に曲の頭出しを行います。
dR （著作権保護機能）	著作権保護機能の有無を切り替えます。設定後に電源を入れ直すと有効になります。 OF 保護機能 OFF すべての音楽データが再生できます。 On 保護機能 ON DRM 付き WMA データ、Liquid Audio データのみ再生できます。
Fo （初期化）	内蔵メモリを初期化します（全曲削除）。 Fo この状態で、ジョグスイッチを右側に押し続けます。初期化終了後、「OF」が表示され、電源が切れます。

5 故障かなと思う前に

トラブルQ＆A＜目次＞

本製品使用時のトラブル

電源を入れても、表示パネルが表示されない …… 101
電源を入れると表示パネルは表示されるが、すぐに電源が切れる…… 101
電源を入れると表示パネルは表示されるが、音楽が再生されない…… 102
どのボタンを押しても反応しない …… 102
曲番が点滅して、その曲だけが再生できない …… 103
音楽を再生すると音飛びがする…… 103

インストール時のトラブル（Windows 編）

本製品を接続すると「新しいハードウェアの追加」画面が
表示される…… 104
インストール終了後の確認で、「I-O DATA MDM-H301」と
表示されない …… 104
リムーバブルディスクが表示されない …… 105
リムーバブルディスクが複数表示されて、
どれが本製品か分からない …… 106

本製品への転送時のトラブル

リムーバブルディスクまたはデバイスが表示されない…… 108
リムーバブルディスクまたはデバイスが複数表示されて、
どれが本製品なのか分からない …… 108
HyperHyde への転送が選択できない（BeatBox 使用時）…… 108
デバイスに MDM-H301 と表示されない
（Liquid Player 使用時）…… 108
ドライブアイコンがマウントされない（Macintosh 使用時）…… 108

その他

Liquid Player をインストールするとシステムが不安定になった
…… 109
Liquid Player インストール後に、CD-ROM ドライブや
DVD-ROM ドライブが表示されなくなった
（Windows 2000 使用時）…… 109

トラブルQ＆A

原因が複数ある場合は簡単なものから先に説明してあるので、上から順番に解決していってください。

本製品使用時のトラブル

電源を入れても、表示パネルが表示されない

原　　因	電池が正しく入っていないか，電池切れである。
解決方法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を入れ直してください。 充電するか、市販の新しいアルカリ電池に変えてみてください。 26 ページ「充電しよう」参照

電源を入れると表示パネルは表示されるが、すぐに電源が切れる

原　　因	HOLD 状態になっている。
解決方法	表示パネルに「Hd」と表示されてすぐに電源が切れる場合は、HOLD 状態になっています。HOLD スイッチを逆方向にスライドさせて、HOLD 状態を解除してから、電源を入れてください。 94 ページ「誤操作防止機能」参照

原　　因	何も録音されていない。
解決方法	この場合はジョグスイッチを押すと、バックライトは点灯しますが、すぐに電源が切れます。再生できる音楽データを録音してください。 Windows の場合：45 ページ「音楽を録音するまでのプロセス」参照 Macintosh の場合：90 ページ「音楽を録音するには」参照

原　　因	本製品の著作権保護機能が ON になっているが、著作権保護対象の音楽データ（DRM 付き WMA データ、または、Liquid Audio データ）が録音されていない。
解決方法	曲番号が点滅して表示され、電源が切れます。 本製品の著作権保護機能を OFF にしてください。ON になっていると著作権保護対象の音楽データしか再生できません。 設定は音楽再生中しかできないので、まず、再生モードをリピートモードにして電源が OFF にならないようにしてから行うことをおすすめします。 96 ページ「モードの設定」参照

原　因	内蔵メモリが異常である。
解決方法	内蔵メモリを初期化してから、再度、録音してみてください。 96 ページ「モードの設定」参照

電源を入れると表示パネルは表示されるが、音楽が再生されない

原　因	音量が小さい。
解決方法	表示パネルが表示されているときは、音量が小さすぎることが考えられます。[音量＋]ボタンを押して音量を上げてください。 91 ページ「基本操作」参照

原　因	再生できる音楽データではない。
解決方法	曲番が点滅して、再生できない場合は、この原因が考えれます。 音楽データの圧縮形式が正しくても、本製品への転送方法が正しくない場合もあります。ご確認ください。 Windows の場合：45 ページ「音楽を録音するまでのプロセス」参照 Macintosh の場合：90 ページ「音楽を録音するには」参照

原　因	本製品の著作権保護機能が ON になっているが、著作権保護対象の音楽データ（DRM 付き WMA データ、または、Liquid Audio データ）が録音されていない。
解決方法	本製品の著作権保護機能を OFF にしてください。ON になっていると著作権保護対象の音楽データ（DRM 付き WMA データ、または、Liquid Audio データ）しか再生できません。 96 ページ「モードの設定」参照

どのボタンを押しても反応しない

原　因	HOLD 状態になっている。
解決方法	HOLD スイッチが HOLD 位置になっていないか、確認してください。 HOLD 状態を解除するには、HOLD スイッチを逆の方向へスライドさせてください。 94 ページ「誤操作防止機能」参照

原　因	USB ケーブルを接続したままである。
解決方法	パソコン側の USB コネクタを外した後に、本製品側の USB コネクタを外してください。

曲番が点滅して、その曲だけが再生できない

原　　因	再生できる音楽データではない。
解決方法	音楽データの圧縮形式が正しくても、本製品への転送方法が正しくない場合もあります。ご確認ください。 Windows の場合：45 ページ「音楽を録音するまでのプロセス」参照 Macintosh の場合：90 ページ「音楽を録音するには」参照

原　　因	本製品の著作権保護機能が ON になっているが、その曲が著作権保護対象の音楽データ（DRM 付き WMA データ、または、Liquid Audio データ）ではない。
解決方法	本製品の著作権保護機能を OFF にしてください。ON になっていると著作権保護対象の音楽データ（DRM 付き WMA データ、または、Liquid Audio データ）しか再生できません。 96 ページ「モードの設定」参照

音楽を再生すると、音飛びがする

原　　因	音楽録音時に使用している CD-ROM ドライブが、オーディオキャプチャに対応していない。
解決方法	オーディオキャプチャに対応した CD-ROM ドライブを使用してください。

原　　因	ー
解決方法	同じ個所で音飛びする場合は、内蔵メモリを初期化してから、再度、音楽データを転送（録音）してください。 98 ページ「初期化」参照

原　　因	本製品の著作権保護機能が ON になっているが、その曲が著作権保護対象の音楽データ（DRM 付き WMA データ、または、Liquid Audio データ）ではない。
解決方法	本製品の著作権保護機能を OFF にしてお試しください。 96 ページ「モードの設定」参照

原　　因	ー
解決方法	音楽の録音時のビットレートを下げてお試しください。

インストール時のトラブル（Windows 編）

本製品を接続すると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示される

原　　因	サポートソフトがインストールされていない。
解決方法	サポートソフトは本製品を接続する前にインストールします。 サポートソフトがインストールされていない状態で本製品を接続すると「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。 [キャンセル]ボタンをクリックして画面を閉じた後、本製品を取り外してから、サポートソフトのインストールを行ってください。 「インストールと確認」 Windows XP の場合：20 ページ参照 その他の Windows の場合：13 ページ参照

原　　因	正しくインストールされていない。
解決方法	サポートソフトを削除してから、再度、インストールを行ってください。 「インストールした情報を削除するには」 Windows Me/98 の場合：31 ページ参照 Windows XP の場合：35 ページ参照 Windows 2000 の場合：39 ページ参照 「インストールと確認」 Windows XP の場合：20 ページ参照 その他の Windows の場合：13 ページ参照

インストール終了後の確認で、「I-O DATA MDM-H301」と表示されない

原　　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	パソコン側、本製品側とも、USB ポートに最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 別の USB ポートに差し込んでみてください。 USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。

原　　因	正しくインストールされていない。
解決方法	「インストール終了後の確認」を行って、正しくインストールされているかどうか、ご確認ください。 正しくインストールされていない場合は、サポートソフトを削除してから、再度、インストールを行ってください。 「インストール後の確認」 Windows Me/98 の場合：16 ページ参照 Windows XP の場合：24 ページ参照 Windows 2000 の場合：18 ページ参照

原　　因	「その他のデバイス」として誤認識されている。
解決方法	サポートソフトをインストールする前に本製品を接続して、新しいハードウェアの追加画面からインストールしてしまった場合など、「その他のデバイス」として認識されることがあります。 次のことをお試しください。 1. 「インストール後の確認」を行います。 2. デバイスマネージャが表示されたら、[その他のデバイス]を確認してください。 [I-O DATA MDM-H301]が表示されていた場合は [I-O DATA MDM-H301]をクリックして、[削除]ボタン（Windows XP/2000 の場合は右クリックして[削除]を選択）をクリックして、削除してから、本製品を取り外します。 3. サポートソフトのインストールを行います。 「インストール後の確認」 Windows Me/98 の場合：16 ページ参照 Windows XP の場合：24 ページ参照 Windows 2000 の場合：18 ページ参照

リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	パソコンの USB ポートに最後まで差し込まれているか、本製品側の USB コネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 別の USB ポートに差し込んでみてください。 USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。

原　　因	正しくインストールされていない。
解決方法	「インストール終了後の確認」を行って、正しくインストールされているかどうか、ご確認ください。 正しくインストールされていない場合は、サポートソフトを削除してから、再度、インストールを行ってください。 「インストール後の確認」 Windows Me/98 の場合：16 ページ参照 Windows XP の場合：24 ページ参照 Windows 2000 の場合：18 ページ参照

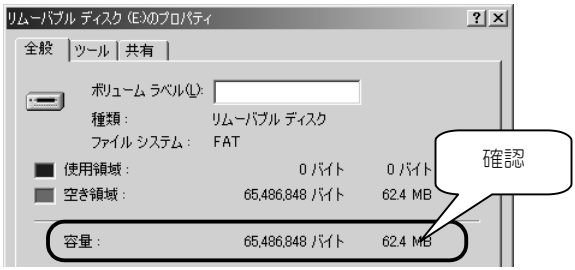
原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている。
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があります。 ネットワークドライブの割り当てを変更してから、再度、接続してください。ネットワークドライブの割り当てについては、ネットワーク管理者などにお聞きください。

リムーバブルディスクが複数表示されて、どれが本製品か分からない

1 [マイコンピュータ]を起動します。

2 リムーバブルディスクを選択し、右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

3 本製品であれば、容量が 62.4MB と表示されます。



本製品への転送時のトラブル

リムーバブルディスクまたはデバイスが表示されない

Windows Media Player やマイコンピュータを終了し、105 ページ「リムーバブルディスクが表示されない」を参照してください。

リムーバブルディスクまたはデバイスが複数表示されて、どれが本製品なのか分からない

Windows Media Player やマイコンピュータを終了し、106 ページ「リムーバブルディスクが複数表示されて、どれが本製品か分からない」を参照して確認してください。

HyperHyde への転送が選択できない（BeatBox 使用時）

BeatBox を終了し、105 ページ「リムーバブルディスクが表示されない」を参照してください。

デバイスに「MDM-H301」と表示されない（Liquid Player 使用時）

Liquid Player を終了し、105 ページ「リムーバブルディスクが表示されない」を参照してください。

ドライブアイコンがマウントされない（Macintosh 使用時）

原　　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	パソコンの USB ポートに最後まで差し込まれているか、本製品側の USB コネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 別の USB ポートに差し込んでみてください。USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。 「接続後の確認」を行ってみてください。 88 ページ「接続後の確認」参照

その他

Liquid Player をインストールするとシステムが不安定になった

原　　因	ウィルスチェッカがインストールされた環境である。
解決方法	C:¥Program Files¥Liquid IO¥Support フォルダ内にある、「interlok_driver_kit.exe」をダブルクリックして起動し、対策ソフトをインストールしてください。 ※　現象が発生していない場合、この処理は行わないでください。

Liquid Player インストール後に、CD-ROM ドライブや DVD-ROM ドライブが表示されなくなった（Windows 2000 使用時）

原　　因	ー。
解決方法	C:¥ProgramFolder¥Liquid IO¥Support¥ETC フォルダ内にある、「lacdrfix10.reg」をダブルクリックし、レジストリに情報を追加します。その後、パソコンを再起動してください。。 ※　現象が発生していない場合、この処理は行わないでください。

簡単なお手入れ

■汚れたときは

乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、かたく絞った布で拭いた後、必ず乾いた布でからぶきしてください。

■濡れたときは

できるだけ早く、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。

注意！

1. **ベンジンやシンナーなどの薬品類は絶対に使わないでください。変色、変質のおそれがあります。**
2. **油をささないでください。故障の原因になります。**

■プラグなどのお手入れ

ステレオイヤホンのプラグは常にきれいにしておいてください。プラグに汚れがつくと、雑音が入ることがあります。

6 付録

ハードウェア仕様

■基本仕様■

型式番号	HyperHyde Hyblitz(MDM-H301)
内蔵メモリ	64M バイト
デコードフォーマット	マルチデコードシステム （WMA、MP3、AAC）
周波数特性	20Hz～20,000Hz
電源	単４形×１ （アルカリ乾電池または 三洋電機㈱製 ニッケル水素充電池）
出力端子	フォンアウト×１（φ3.5mm） ステレオミニジャック
ヘッドホン出力	5mW＋5mW
液晶表示部	7 セグメント文字×2
連続再生時間	ニッケル水素充電池：約 4 時間 アルカリ乾電池：約 5.5 時間
端末インターフェイス	USB Spec 1.1 準拠 USB 接続時電源電圧：バスパワー/5.0V
動作温度/湿度	0～40℃/20～80%
外形寸法	42.8×79.9×17.8mm（突起部除く）
質量	本体：34g

■ビットレートとサンプリングレート■

音楽データ形式	サンプリングレート	ビットレート
WMA 方式	44.1KHz	48Kbps～160Kbps
MP3 方式	16KHz～44.1KHz	16Kbps～320Kbps
Liquid AAC 方式	44.1KHz	64Kbps～128Kbps
Liquid MP3 方式	16KHz～44.1KHz	16Kbps～192Kbps

※著作権保護管理された場合や、音楽データによってはビットレートが高いと音飛びする場合があります。そのときは著作権保護管理を外すか、ビットレートを下げてください。

用語解説

AAC（エーエーシー）（*Advanced Audio Coding*）

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が 1997 年に制定した音声情報圧縮の国際規格「MPEG-2 Advanced Audio Coding（ISO/IEC 標準 13818-7）」。圧縮率、音質とも MP3 同等以上の性能がある。BS デジタル放送の音楽圧縮技術として採用されている。

DRM（ディーアールエム）（*Digital Rights Management*）

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術や画像ファイルの電子透かしなどを含む。具体的な実装携帯は様々で、メモリカードなどの記憶媒体に内蔵される場合や、音声や動画のプレーヤーに組み込まれる場合、送受信・転送ソフトに組み込まれる場合、およびそれらの組み合わせなどがある。

Liquid Audio（リキッドオーディオ）

米リキッドオーディオ社が開発した音楽データ・ファイルの配信形式。音声圧縮方式は AAC、MP3、ドルビーデジタル AC-3 などを幅広くサポート。違法コピー防止のための暗号化、不正な流通を追跡するための電子透かしといった機構を組み込んでいる。インターネットやキオスク端末を使った音楽データ販売で利用されている。ダウンロードした音楽データ・ファイルは、同社の提供する再生ソフト「Liquid Player」や Liquid Audio 形式に対応した携帯プレーヤーで再生できる。

MP3（エムピースリー）（*MPEG-1 Audio Layer 3*）

MPEG Audio 規格は音声情報圧縮技術の規格で、Layer 1 が 1/4、Layer 2 が 1/8、Layer 3 が 1/10 の圧縮率を得ることができる。音楽 CD 並の高音質を得ることができるため、小型再生装置（携帯プレーヤーなど）やインターネットでの配布に便利。

SDMI（エスディエムアイ）（*Secure Digital Music Initiative*）

デジタル音楽の著作権保護を目的として、1998 年に米国大手レコード会社などが中心となって設立したフォーラム。現在、ポータブル音楽プレーヤーで著作権を保護する仕組みである Portable Device Specification Version 1.0 の仕様が公開されており、今後の著作権保護システムの標準となることが期待されている。

USB（ユーエスビー）（*Universal Serial Bus*）

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと周辺機器の接続性向上、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。

- Hot Plug 対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USB ポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない。
- 複数の IRQ を使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。

WMA（ダブリューエムエー）（*Windows Media Audio*）

ストリーミング配信技術体系 Windows Media Technologies において、標準とされている音声圧縮技術及びファイル形式の名称。ファイル形式名として使われるときは WMA と略されることが多い。開発元の米マイクロソフトでは、MP3 と比較して、同音質を 2 分の 1 のデータ量で実現できるとしている。Windows に標準搭載されている Windows Media Player で再生可能なほか、対応ソフトウエアも数多く発表されている。

エンコード／デコード

エンコードとは、データを一定の規則に従って符号化すること、あるいはそのソフトおよびハードを指す場合もある。エンコードされたデータを元に戻すことをデコードという。

オーディオキャプチャ

音楽 CD などの音声をファイルなどに取り込むこと。

サンプリングレート

サンプリングを行う間隔時間。単位は秒。1 秒間に行うサンプリングの回数をいう場合は Hz（ヘルツ）を単位とする。サンプリング・レートが大きいほど、精度は高くなるが、データ数は増大する。一般的に音楽 CD のサンプリングレートは 44.1KHz。

ダイナミックディスク

Windows 2000 に追加されたディスク管理機能の 1 つ。このダイナミックディスクを利用することで、既存パーティションの内容（ファイル内容）を維持したまま、パーティションサイズを拡張したり、後から増設したディスクと既存のディスクをあたかも 1 台のディスクのように取り扱ったりすることが可能になる。

ビットレート

1 ビットが転送される速度。音楽データの場合、ビットレートが高いと音質は良くなるが、ファイル容量が増えることになる。

アフターサービス

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名
5. 現在の状態（起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて）

■インターネット

http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して E-Mail をお送りください。

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「HyperHyde Hyblitz」係　宛

■電話・FAX

電話番号	**本社 076-260-3646**
	東京 03-3254-1036
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**
FAX 番号	**本社 076-260-3360**
	東京 03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

http://www.iodata.co.jp/ → サポートライブラリ

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「HyperHyde Hyblitz」サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「HyperHyde Hyblitz」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口「HyperHyde Hyblitz」　サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

HyperHyde Hyblitz 取扱説明書
2001.Sep.21 97863-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。